

小**学**校

外国語教育

学習評価

ハンドブック

このハンドブックの目的と趣旨

このハンドブックは、著者の勤務している自治体において小学校外国語教育に携わる先生や、これから外国語科や外国語活動を指導してみたいと考えておられる先生の「生の声」から生まれたものです。

質問紙調査から、多くの先生方が小学校外国語教育における学習評価への不安や悩みを抱いていることが明らかになりました。

「学習評価に関する自分の知識不足が心配」、「普段の授業づくりだけで精一杯…」、「どう評価すれば良いか分からない」など、普段の業務が多忙化する中で、学習評価についてじっくり学ぶことができない先生方が多くおられることが現状です。

先生方が抱く小学校外国語教育における学習評価への悩みや不安を解決する一助となることがこのハンドブックの大きな目的です。

そこで評価に関する事柄を、文部科学省や国立教育政策研究所などから出ている資料をもとに図解しました。図解をすることで、短時間で学習評価について学ぶことができるようにしました。もっと知りたいという方は、図解の典拠先を記しているので、自分の興味に合わせてご参照ください。

普段の授業の中で、学習評価に関する疑問や悩みがある時はもちろん、同じ悩みをもつ同僚や他校、他校種の先生と小学校外国語教育について、お話ししていただく際にはお手元に置いていただければ幸いです。

羽瀨弘毅

目次

このハンドブックの目的と趣旨	i
目次	ii
このハンドブックの使い方	v
ページの見方	vi
学習評価困ったあるある	vii
考えてみよう！一覧	xi
学習評価全般に関するもの	x vi
小学校外国語教育における学習評価に関するもの	x vii
学習評価と現状の課題	1
学習評価の在り方	2
目標に準拠した評価	3
コラム「 記録に残す評価が A にあたる児童が多いのですが、大丈夫でしょうか？ 」	4
学習評価の質（信頼性と妥当性①）	5
学習評価の質（信頼性と妥当性②）	6
評価方法	7
記録に残す評価と指導に生かす評価	8
評価規準	9
評価基準と評価規準	10
観点別学習状況評価	11
「知識・技能」の評価	12
「知識・技能」の軽重	13
「思考・判断・表現」の評価	14
「主体的に学習に取り組む態度」の評価①	15
「主体的に学習に取り組む態度」の評価②	16
「主体的に学習に取り組む態度」の評価③	17
自己調整とメタ認知	18
観点別学習状況評価のばらつき	19
評価と時期	20
評定	21
評定と保護者	22

評価と児童生徒	23
評価と外部試験	24
評価と教員研修	25
パフォーマンス評価	26
ルーブリック	27
ポートフォリオ	28
外国語教育における評価の課題	29
小学校外国語教育における目標	30
外国語教育における言語活動	31
コラム「どのように授業づくりをすればいいか悩んでいます」	32
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方	33
小学校外国語教育における評価計画	34
コラム「専科教員がいる学校と担任が授業をしている学校では評価方針に大きな違いが生じているのではないのでしょうか？」	35
小学校外国語教育における知識・技能①	36
小学校外国語教育における知識・技能②	37
小学校外国語教育における思考・判断・表現	38
小学校外国語教育と「発音」について	39
「話すこと [やり取り]」の評価	40
コラム「たくさんの人数をどのように評価すればいいのですか？」	41
「聞くこと」の評価	42
文法事項と文構造	43
「話すこと」における評価時期	44
小学校外国語教育における語彙	45
小学校外国語教育における言語材料	46
コラム「知識・技能に関するペーパーテストはどのように作成すればいいのですか？」	47
「話すこと」における「十分満足できる」状況	48
「読むこと」の評価	49
「書くこと」の評価	50
「書くこと」における「十分満足できる」状況	51
コラム「文字への指導と評価する時間が他の技能に比べて少ないです」	52
小学校外国語教育と主体的に学習に取り組む態度①	53
小学校外国語教育と主体的に学習に取り組む態度②	54

小学校外国語教育と主体的に学習に取り組む態度③	55
コラム「何ができていたら自己調整なのでしょうか？」	56
小学校外国語教育における記録に残す評価	57
コラム「評定への説明責任のプレッシャーを感じてしまいます」	58
小学校外国語教育における評価方法	59
コラム「性格的に話すことが苦手な児童がいます」	60
小学校外国語教育における評価規準	61
外国語活動における学習評価	62
評価における「正確さ」と「適切さ」	63
コラム「短時間で「正確さ」を見取ることが難しいです」	64
外国語教育における振り返りシートの役割	65
考えてみよう！解答例	66
索引	75
参照資料一覧	78
参考文献	80

ハンドブックの使い方

☑評価に関する事柄を、キーワードをもとに図解しているので、短時間で評価について学ぶことができます。

([学習評価全般に関するもの](#)・[小学校外国語教育における学習評価に関するもの](#))

☑「[学習評価困ったあるある](#)」を参照していただき、自分の状況に応じて必要な項目を読んでいただければ幸いです。

☑PDF ファイルなのでお使いのスマートフォンやタブレット、パソコンに保存をして閲覧することができます。

☑ページの先頭には、テーマに関するお題「**考えてみよう!**」をつけています。

自分なりに考えながら図解を読み解くことで理解が深まります。

どの項目から読んで良いか迷う方は、「[考えてみよう!一覧](#)」から自分の興味のある項目を選ぶことも可能です。

☑図解の根拠なる資料へのリンク「**読んでみよう!**」があるので、典拠先も閲覧することができます。

(閲覧時のデータ通信料は個人の負担となりますのでご注意ください。資料も PDF ファイルなので、保存することをお勧めします。)

☑同じ疑問や悩みをもった先生方で、その項目について**実例を交えながら話したり、情報を共有したり**することで、学習評価への理解が深まることを想定しています。

☑各校での評価についての研修の参考資料としてもお使いいただくことができます。

研修等で、ご使用される場合はご感想をいただければ幸いです。

☑評価について気になったことがあれば、ファイルを開き、コントロールキー (CTRL) と F キーを同時に押せばキーワードを検索できます。(赤丸の付近に該当のキーがあります)

※元ページ (前の画面に戻りたい場合は、Alt キーと左矢印キー (←) を押せば戻ります。

青丸付近に該当のキーがあります。

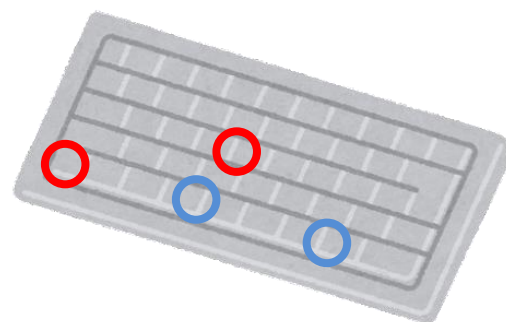


このボタンを利用することで目次等に戻ることができます。

あ→[あるある一覧](#) 全→[学習評価全般に関するもの](#)

小→[小学校外国語教育における学習評価に関するもの](#)

考→[考えてみよう!一覧](#) 索→[索引](#)



ページの見方

テーマとそれに関するお題があります。
考えながら読み解くと、より理解が深まります。

学習評価と現状の課題

考えてみよう！

・学習評価は何のために行うのでしょうか？

テーマに関連するキーワード

キーワード

- 関心・意欲・態度
- 学習改善
- 記録に残す評価
- 主体的に学習に取り組む態度
- 指導要録
- 働き方改革

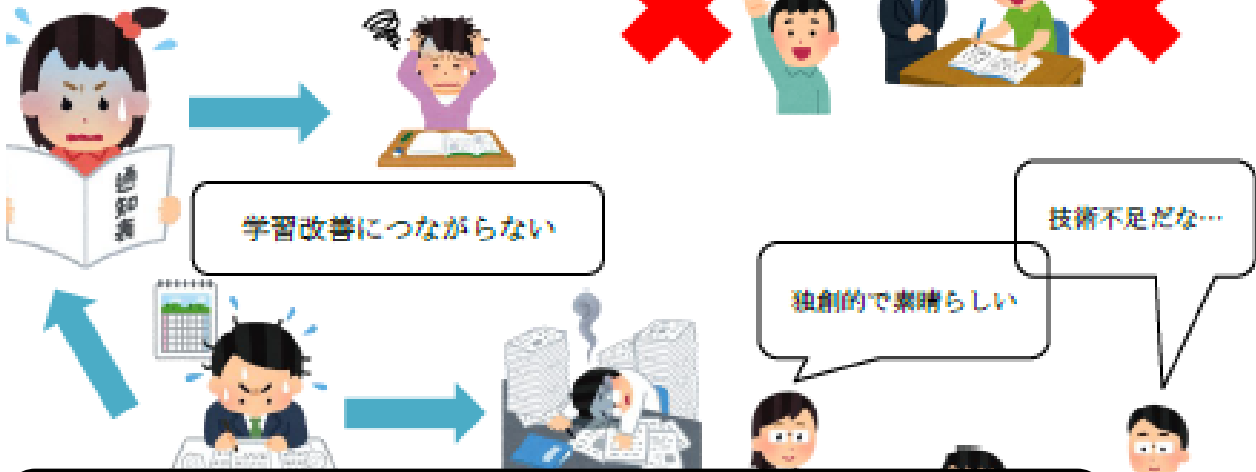
資料をもとに作成した図解

挙手の回数やノートが評価の対象に

いっぱい発表して
成績をよくするぞ！

きちんとノートをとっている
から主体は、だな

通知表を渡しておしまい



図解の根拠となる資料へのリンクです。
閲覧時のデータ通信料は個人の負担となりますのでご注意ください。

教師によって評価の方針が違う

読んでみよう！

報告(p.4)「[\(3\) 学習評価について指摘されている課題](#)」

ハンドブック(p.11)「[コラム：評価の方法の共有で働き方改革](#)」

学習評価困ったあるある①

きちんと評価できているか不安…。

学習評価の基本的なことを知りたい。

評価方法が分からない…。

どのような場面で評価すれば良いの？

どのような力を評価すれば良いの？

aとbの差って何？

C・C・Aって成績つけたらダメなの？

あゆみ（通知表）をつけるのが不安、自信がないです…。

塾で先行学習している子の学習評価
どうしよう。

評価材料が少ないな…。

評価材料の選び方が不安だな。

- [学習評価と現状の課題](#)
- [学習評価の在り方](#)
- [目標に準拠した評価](#)
- [学習評価の質（信頼性と妥当性①）](#)
- [学習評価の質（信頼性と妥当性②）](#)

- [外国語教育における評価の課題](#)
- [小学校外国語教育における目標](#)
- [小学校外国語教育における評価計画](#)
- [小学校外国語教育における評価方法](#)
- [小学校外国語教育における評価規準](#)

- [評価規準](#)
- [評価基準と評価規準](#)
- [観点別学習状況評価](#)
- [観点別学習状況評価のばらつき](#)
- [小学校外国語教育における記録に残す評価](#)

- [評定](#)
- [評定と保護者](#)
- [評価と児童生徒](#)
- [評価と外部試験](#)
- [評価と教員研修](#)

- [評価方法](#)
- [記録に残す評価と指導に生かす評価](#)
- [評価と時期](#)
- [パフォーマンス評価](#)
- [ルーブリック](#)
- [ポートフォリオ](#)

[あるある②へ進む](#)

学習評価困ったあるある②

そもそも、主体的に学習に取り組む態度って何？

自己調整って何？

小学校外国語教育における「主体的に学習に取り組む態度」について知りたい。

振り返りシートを学習評価委にどのように利用したらいいの？

- ・ [「主体的に学習に取り組む態度」の評価①](#)
- ・ [「主体的に学習に取り組む態度」の評価②](#)
- ・ [「主体的に学習に取り組む態度」の評価③](#)
- ・ [自己調整とメタ認知](#)
- ・ [「何ができていたら自己調整なのでしょうか？」](#)

- ・ [小学校外国語教育と主体的に学習に取り組む態度①](#)
- ・ [小学校外国語教育と主体的に学習に取り組む態度②](#)
- ・ [小学校外国語教育と主体的に学習に取り組む態度③](#)
- ・ [外国語教育における振り返りシートの役割](#)

「知識・技能」について知りたい。

どうテストって作ったらいいの？

- ・ [「知識・技能」の評価](#)
- ・ [「知識・技能」の軽重](#)
- ・ [小学校外国語教育における知識・技能①](#)
- ・ [小学校外国語教育における知識・技能②](#)
- ・ [「知識・技能に関するペーパーテストはどのように作成すればいいですか？」](#)

「思考・判断・表現」について知りたい

- ・ [「思考・判断・表現」の評価](#)
- ・ [小学校外国語教育における思考・判断・表現](#)

発音を評価する自信がありません。

文法はどう評価すれば良いの？

- ・ [小学校外国語教育と「発音」について](#)
- ・ [文法事項と文構造](#)
- ・ [小学校外国語教育における語彙](#)
- ・ [小学校外国語教育における言語材料](#)

外国語活動の学習評価について知りたい。

- ・ [外国語活動における学習評価](#)
- ・ [外国語教育における振り返りシートの役割](#)
- ・ [外国語教育における評価の課題](#)
- ・ [小学校外国語教育における評価方法](#)
- ・ [外国語教育における言語活動](#)

[あるある③へ進む](#)

学習評価困ったあるある③

パフォーマンス課題について知りたい。

人数が多くて、評価が大変です。

「話すこと」の学習評価について知りたい。

人前で話すことが苦手な児童がいます。

「書くこと」や「読むこと」の学習評価について知りたい。

「聞くこと」の学習評価について知りたい。

学習評価よりも、日々の授業づくりが不安です。

- 評価における「正確さ」と「適切さ」
- パフォーマンス評価
- ループリック
- 「短時間で「正確さ」を見取ることが難しいです」
- 「たくさんの人数をどのように評価すればいいのですか？」

- 「話すこと [やり取り]」の評価
- 「話すこと」における評価時期
- 小学校外国語教育における語彙
- 「話すこと」における「十分満足できる」状況
- 「性格的に話すことが苦手な児童がいます」

- 「読むこと」の評価
- 「書くこと」の評価
- 「書くこと」における「十分満足できる」状況
- 「文字への指導と評価する時間が他の技能と比べて少ないです」

- 「聞くこと」の評価
- 小学校外国語教育における言語材料
- 小学校外国語教育における語彙

- 外国語教育における言語活動
- 「どのように授業づくりをすればいいか悩んでいます」
- 外国語教育によるコミュニケーションにおける見方・考え方
- 記録に残す評価と指導に生かす評価

[あるある④へ進む](#)

学習評価困ったあるある④

総括的評価が A ばかりです。

- ・「[総括的評価が A にあたる児童が多いのですが、大丈夫でしょうか?](#)」

他の先生と評価方針があっているか心配です。

- ・「[専科がいる学校と担任が授業をしている学校では評価方針に大きな違いが生じているのではないのでしょうか?](#)」
- ・[評価と教員研修](#)

説明責任のプレッシャーを感じます。

- ・「[評定への説明責任のプレッシャーを感じてしまいます](#)」

あるあるにはなかった。

自分で課題を見つけたい

→「[考えてみよう！一覧](#)」

目次から選びたい

→[学習評価全般に関すること](#)

→[小学校外国語教育における学習評価に関すること](#)

もう一度「あるある」から探したい

→「[学習評価困ったあるある](#)」



考えてみよう！一覧

学習評価と現状の課題

Q. 学習評価は何のために行うのでしょうか？

学習評価の在り方

Q. 学習評価は何を評価するのでしょうか？

目標に準拠した評価

Q. 目標に準拠した評価とは何だろう？

学習評価の質（信頼性と妥当性①）

Q. 学習評価の質を高めるために、「信頼性」と「妥当性」をなぜ大切にしないといけないのだろうか？

学習評価の質（信頼性と妥当性②）

Q. 学習評価の質である信頼性や妥当性を向上させるにはどうしたらいいのだろうか？

評価方法

Q. 評価方法で気をつけるべきことは何だろう？

記録に残す評価と指導に生かす評価

Q. 記録に残す評価と指導に生かす評価とは何だろう？

評価規準

Q. 評価規準とは何だろう？

評価基準と評価規準

Q. 評価基準と評価規準の違いは何だろう？

観点別学習状況評価

Q. 観点別学習状況評価の役割は何だろう？

「知識・技能」の評価

Q. 「知識・技能」はどのように評価すれば良いのだろうか？

「知識」と「技能」の軽重

Q. 「知識」と「技能」を分けて評価することはできるのだろうか？

「思考・判断・表現」の評価

Q. 「思考・判断・表現」はどのように評価すれば良いのだろうか？

「主体的に学習に取り組む態度」の評価①

Q. 「主体的に学習に取り組む態度」は何を評価すれば良いのだろうか？

「主体的に学習に取り組む態度」の評価②

Q. 「主体的に学習に取り組む態度」を指導や評価する際に気をつけるべきことは何だろうか？

「主体的に学習に取り組む態度」の評価③

Q. 児童の「主体的に学習に取り組む態度」を評価する際に気をつけるべきことは何だろうか？

自己調整とメタ認知

Q. 自己調整とメタ認知とは一体何だろうか？

観点別学習状況評価のばらつき

Q. 単元末や学期末、学年末の結果として観点別学習状況評価に大きなばらつきは生じるだろうか？生じた場合は、何が原因なのだろうか？

評価と時期

Q. 必要な指導を行わないまま、一方的に評価することがないように必要な手立ては？

評定

Q. 評定と観点別学習状況評価の違いは何だろうか？

評定と保護者

Q. 保護者に評定の趣旨を理解してもらうためにはどうしたらいいのだろうか？

評価と児童生徒

Q. 児童生徒の学習改善につなげるためには、どのような評価が必要なのだろうか？

評価と外部試験

Q. 各種試験や検定等の外部試験の評価に関する留意点は何だろうか？

評価と教員研修

Q. 教員研修の中で、どのような力を培っていけば良いのだろうか？

パフォーマンス評価

Q. パフォーマンス評価を行うメリットと注意点は何か？

ルーブリック

Q. ルーブリックを用いて評価を行うために、必要なことは何か？

ポートフォリオ

Q. ポートフォリオで評価することのメリットは何か？

外国語教育における評価の課題

Q. 外国語教育においては、評価における課題はどのようなものがあるのだろうか？

小学校外国語教育における目標

Q. 外国語活動、高学年の外国語科、中学校の外国語科の目標はどのように違うのだろうか？

外国語教育における言語活動

Q. 外国語教育においては、どのようなものを言語活動と捉えるのだろうか？

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方

Q. 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方とは何か？

小学校外国語教育における評価計画

Q. 小学校外国語教育における評価計画は作る際に、どのようなことに気をつければ良いのだろうか？

小学校外国語教育における知識・技能①

Q. 小学校外国語教育における知識は、どのようなことを指導し、評価すれば良いのだろうか？

小学校外国語教育における知識・技能②

Q. 小学校外国語教育における技能は、どのようなことを指導し、評価すれば良いのだろうか？

小学校外国語教育における思考・判断・表現

Q. 小学校外国語教育における「思考・判断・表現」をどのように評価すれば良いのだろうか？

小学校外国語教育と「発音」について

Q. 小学校外国語教育において、「発音」はどのように指導と評価をすれば良いのだろうか？

「話すこと [やり取り]」の評価

Q. 小学校外国語教育における「話すこと [やり取り]」の指導と評価をどのようにすれば良いのだろうか？

「聞くこと」の評価

Q. 小学校外国語教育における「聞くこと」の指導と評価をどのようにすれば良いのだろうか？

文法事項と文構造

Q. 小学校外国語教育においては「文法」をどのように扱えばよいのだろうか？

「話すこと」における評価時期

Q. 小学校外国語教育において、「話すこと」の評価時期について、どのようなことに気をつければ良いのだろうか。

小学校外国語教育における語彙

Q. 小学校外国語教育において「語彙」を指導と評価をする場合、気をつけるべきことは何だろうか？

小学校外国語教育における言語材料

Q. 小学校外国語教育において「言語材料」を指導と評価をする場合、気をつけるべきことは何だろうか？

「話すこと」における「十分満足できる」状況

Q. 小学校外国語教育における「話すこと」の「十分満足できる」状況 (a) とは具体的にどのような姿なのだろうか？

「読むこと」の評価

Q. 小学校外国語教育における「読むこと」の指導と評価をどのように行えば良いのだろうか？

「書くこと」の評価

Q. 小学校外国語教育における「書くこと」の指導と評価をどのように行えば良いのだろうか？

「書くこと」における「十分満足できる」状況

Q. 小学校外国語教育における「書くこと」の「十分満足できる」状況 (a) とは具体的にどのような姿なのだろうか？

[小学校外国語教育における主体的に学習に取り組む態度①](#)

Q. 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する際に気をつけることは何だろうか。

[小学校外国語教育における主体的に学習に取り組む態度②](#)

Q. 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する適切な時期はいつだろうか

[小学校外国語教育における主体的に学習に取り組む態度③](#)

Q. 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する際に、振り返りの記述をどのように扱えば良いのだろうか。

[小学校外国語教育における記録に残す評価](#)

Q. 小学校外国語教育における記録に残す評価はどのように行えば良いのだろうか。

[小学校外国語教育における評価方法](#)

Q. 小学校外国語教育における評価方法にはどのようなものがあり、それぞれの注意点は何だろうか？

[小学校外国語教育における評価規準](#)

Q. 小学校外国語教育における評価規準は、どのように作成すれば良いのだろうか。

[外国語活動における学習評価](#)

Q. 外国語活動における指導と評価をどのように行えば良いのだろうか？

[評価における「正確さ」と「適切さ」](#)

Q. 小学校外国語教育の評価における「正確さ」と「適切さ」をどのように扱えば良いのだろうか？



学習評価全般に関するもの

- [学習評価と現状の課題](#)
- [学習評価の在り方](#)
- [目標に準拠した評価](#)
- [コラム「記録に残す評価が A にあたる児童が多いのですが、大丈夫でしょうか？」](#)
- [学習評価の質（信頼性と妥当性①）](#)
- [学習評価の質（信頼性と妥当性②）](#)
- [評価方法](#)
- [記録に残す評価と指導に生かす評価](#)
- [評価規準](#)
- [評価基準と評価規準](#)
- [観点別学習状況評価](#)
- [「知識・技能」の評価](#)
- [「知識・技能」の軽重](#)
- [「思考・判断・表現」の評価](#)
- [「主体的に学習に取り組む態度」の評価①](#)
- [「主体的に学習に取り組む態度」の評価②](#)
- [「主体的に学習に取り組む態度」の評価③](#)
- [自己調整とメタ認知](#)
- [観点別学習状況評価のばらつき](#)
- [評価と時期](#)
- [評定](#)
- [評定と保護者](#)
- [評価と児童生徒](#)
- [評価と外部試験](#)
- [評価と教員研修](#)
- [パフォーマンス評価](#)
- [ルーブリック](#)
- [ポートフォリオ](#)



小学校外国語教育の学習評価に関するもの ①

- [外国語教育における評価の課題](#)
- [小学校外国語教育における目標](#)
- [外国語教育における言語活動](#)
- [コラム「どのように授業づくりをすればいいか悩んでいます」](#)
- [外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方](#)
- [小学校外国語教育における評価計画](#)
- [コラム「専科教員がいる学校と担任が授業をしている学校では評価方針に大きな違いが生じているのではないのでしょうか？」](#)
- [小学校外国語教育における知識・技能①](#)
- [小学校外国語教育における知識・技能②](#)
- [小学校外国語教育における思考・判断・表現](#)
- [小学校外国語教育と「発音」について](#)
- [「話すこと \[やり取り\]」の評価](#)
- [コラム「たくさんの人数をどのように評価すればいいのですか？」](#)
- [「聞くこと」の評価](#)
- [文法事項と文構造](#)
- [「話すこと」における評価時期](#)
- [小学校外国語教育における語彙](#)
- [小学校外国語教育における言語材料](#)
- [コラム「知識・技能に関するペーパーテストはどのように作成すればいいのですか？」](#)
- [「話すこと」における「十分満足できる」状況](#)
- [「読むこと」の評価](#)
- [「書くこと」の評価](#)
- [「書くこと」における「十分満足できる」状況](#)
- [コラム「文字への指導と評価する時間が他の技能に比べて少ないです」](#)
- [小学校外国語教育と主体的に学習に取り組む態度①](#)
- [小学校外国語教育と主体的に学習に取り組む態度②](#)
- [小学校外国語教育と主体的に学習に取り組む態度③](#)
- [コラム「何ができていたら自己調整なのでしょう？」](#)
- [小学校外国語教育における記録に残す評価](#)
- [コラム「評定への説明責任のプレッシャーを感じてしまいます」](#)

小学校外国語教育の学習評価に関するもの ②

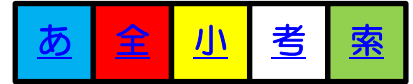
- [小学校外国語教育における評価方法](#)
- コラム「[性格的に話すことが苦手な児童がいます](#)」
- [小学校外国語教育における評価規準](#)
- [外国語活動における学習評価](#)
- [評価における「正確さ」と「適切さ」](#)
- コラム「[短時間で「正確さ」を見取ることが難しいです](#)」
- [外国語教育における振り返りシートの役割](#)



学習評価と現状の課題

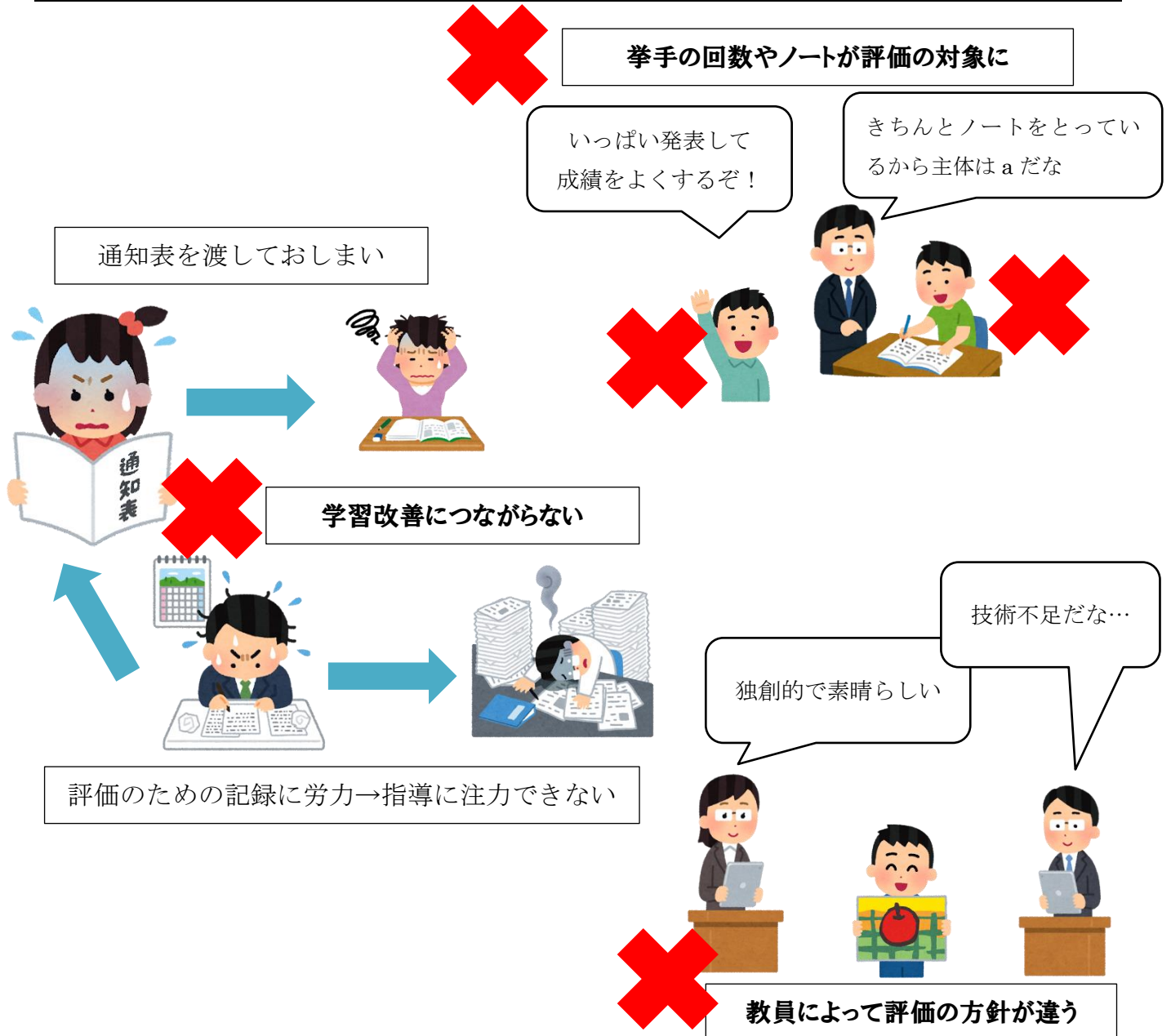
考えてみよう！

・学習評価は何のために行うのでしょうか？ [【解答例】](#)



キーワード

- 関心・意欲・態度
- 主体的に学習に取り組む態度
- 学習改善
- 指導要録
- 記録に残す評価
- 働き方改革



読んでみよう！

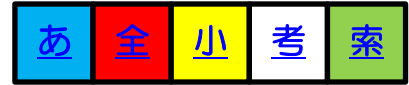
報告(p.4)「[\(3\) 学習評価について指摘されている課題](#)」

ハンドブック(p.11)「[コラム：評価の方法の共有で働き方改革](#)」

学習評価の在り方

考えてみよう！

・学習評価は何を評価するのでしょうか？ [【解答例】](#)

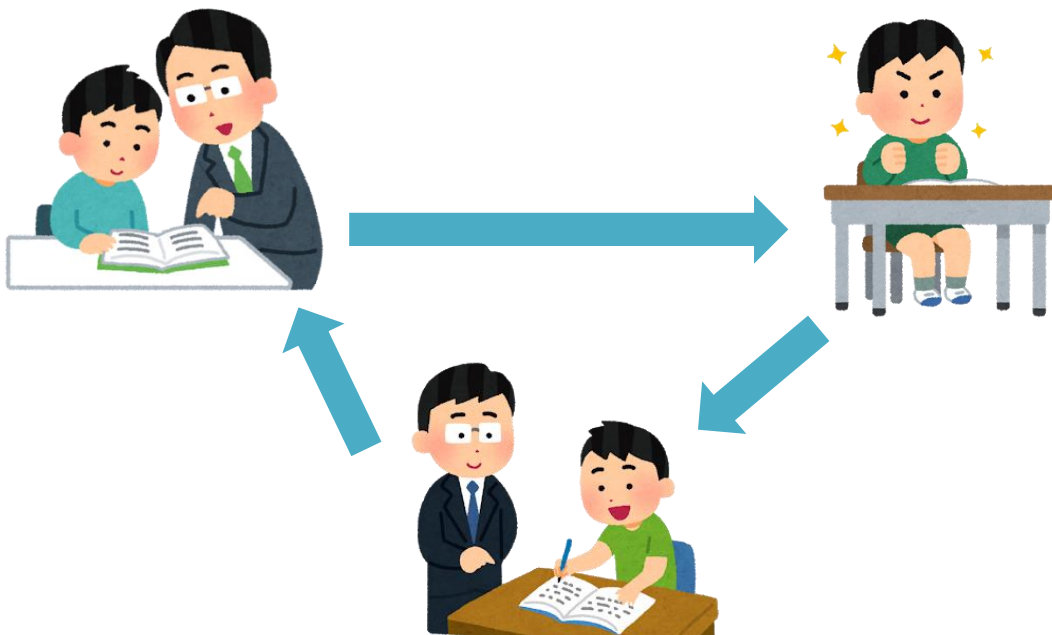


キーワード

○学習改善 ○指導改善 ○妥当性

教員の指導改善
児童生徒の学習改善

自らの学びを振り返る
→次の学びへ向かう原動力



学習評価
→児童生徒の**学習状況**を評価する
「**どういった力が身に付いたか**」



△「毎回の[振り返りシート](#)に全てコメントをしています」
→必要性や[妥当性](#)がないものは見直していく

読んでみよう！

報告(p.5)「[\(4\) 学習評価の改善の基本的な方向性](#)」

答申(p.60)「[第9章 何が身に付いたか -学習評価の充実-](#)」

目標に準拠した評価

考えてみよう！

・目標に準拠した評価とは何だろう？ [【解答例】](#)



キーワード

○絶対評価 ○相対評価 ○観点別学習状況評価 ○外部試験

学校教育においては、学習指導要領で目指す資質・能力の育成を目指すために「目標に準拠した評価」（いわゆる「絶対評価」）を実施する。

相対評価

他者との**比較**で評価するもの

目標に準拠した評価

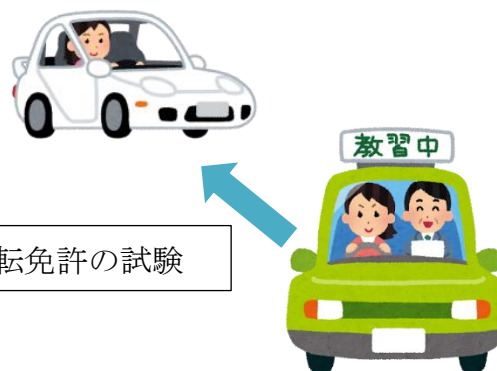
主要な**目標を達成**できているかを評価するもの



語学の検定



運転免許の試験



読んでみよう！

答申(p.61)「[2. 評価の三つの観点](#)」

報告(p.6)「[\[図1\] 各教科における評価の基本構造](#)」

記録に残す評価が A にあたる児童が多いのですが、 大丈夫でしょうか？

記録に残す評価が A にあたる児童が多い理由は2つ考えられます。

① 指導が素晴らしい

育てたい資質・能力に向けて適切な指導が行われ、そのゴールに達している児童が多いのかもしれませんが。

「成績の付け方が甘い！」と決めつけるのではなく、高い成果を出した要因は何だったのだろうと前向きに検討すべきです。

② 評価規準が、児童の実態に合っていない。(低く設定されすぎている)

こちらは、適切な目標設定をしなければいけません。

児童の実態は各学校によって様々です。指導者が変われば、授業スタイルが変わると同じように、目の前の児童が変われば目標設定も変わってくるはずです。

児童の実態把握を進めて、適切な目標設定をするように心がけましょう。

読んでみよう！

西岡加名恵・石井英真・田中耕治 (2015). 『新しい教育評価入門—人を育てる評価のために』



学習評価の質（信頼性と妥当性①）

考えてみよう！

- ・学習評価の質を高めるために、「信頼性」と「妥当性」をなぜ大切にしないといけないのだろう？ [【解答例】](#)

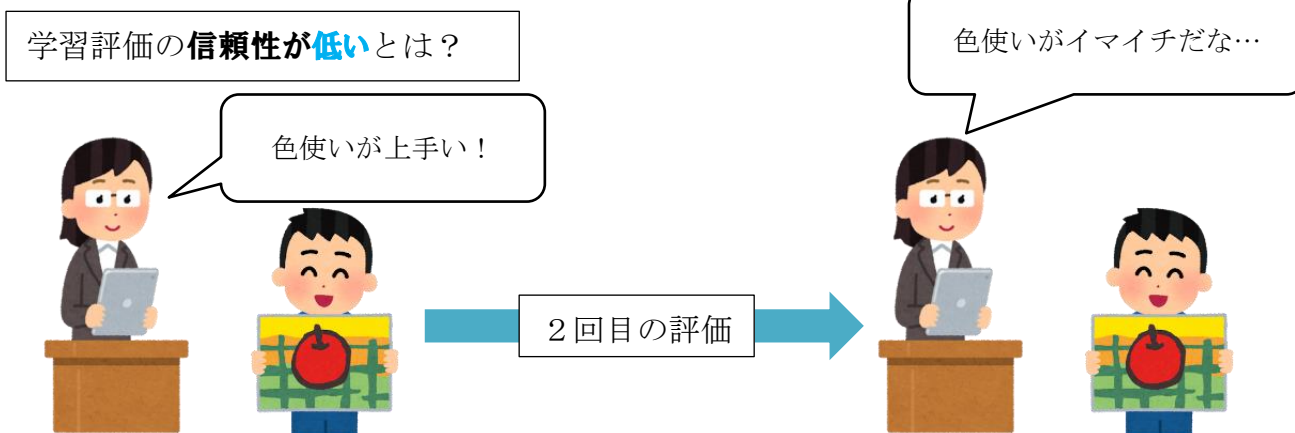
キーワード



○信頼性 ○妥当性 ○評価規準 ○評価方法

学習評価の質を高めるために

各学校における学習評価の信頼性及び妥当性の向上を促すことが重要である。（報告 p.25）



読んでみよう！

報告(p.25) 「[\(4\) 学習評価の改善の基本的な方向性](#)」

答申(p.60) 「[第9章 何が身に付いたか -学習評価の充実-](#)」

学習評価の質（信頼性と妥当性②）

考えてみよう！

・学習評価の質である信頼性や妥当性を向上させるにはどうしたらいいのだろうか？

【解答例】



キーワード

○信頼性 ○妥当性 ○評価規準 ○評価方法 ○保護者 ○評価のずれ

信頼性や妥当性を高めるために、
評価のずれを防ぐことが必要

評価規準や評価方法等を
事前に検討し**明確化**する

保護者に

- ・評価に関する仕組み
 - ・評価結果
- 評価に関する情報を積極的に提供する。



さらに学習評価の質を高めるために評価方法を工夫する



使い勝手の良いデジタル機器やソフトウェア等の導入を進める
→教員一人でも十分に見取ることができる

読んでみよう！

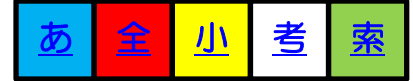
報告(p.26)「(4) 学習評価の改善の基本的な方向性」

Q&A(p.8)「「十分満足できる」状況(A)はどのように判断したらよいのですか。」

評価方法

考えてみよう！

・評価方法で気をつけるべきことは何だろう？ [【解答例】](#)

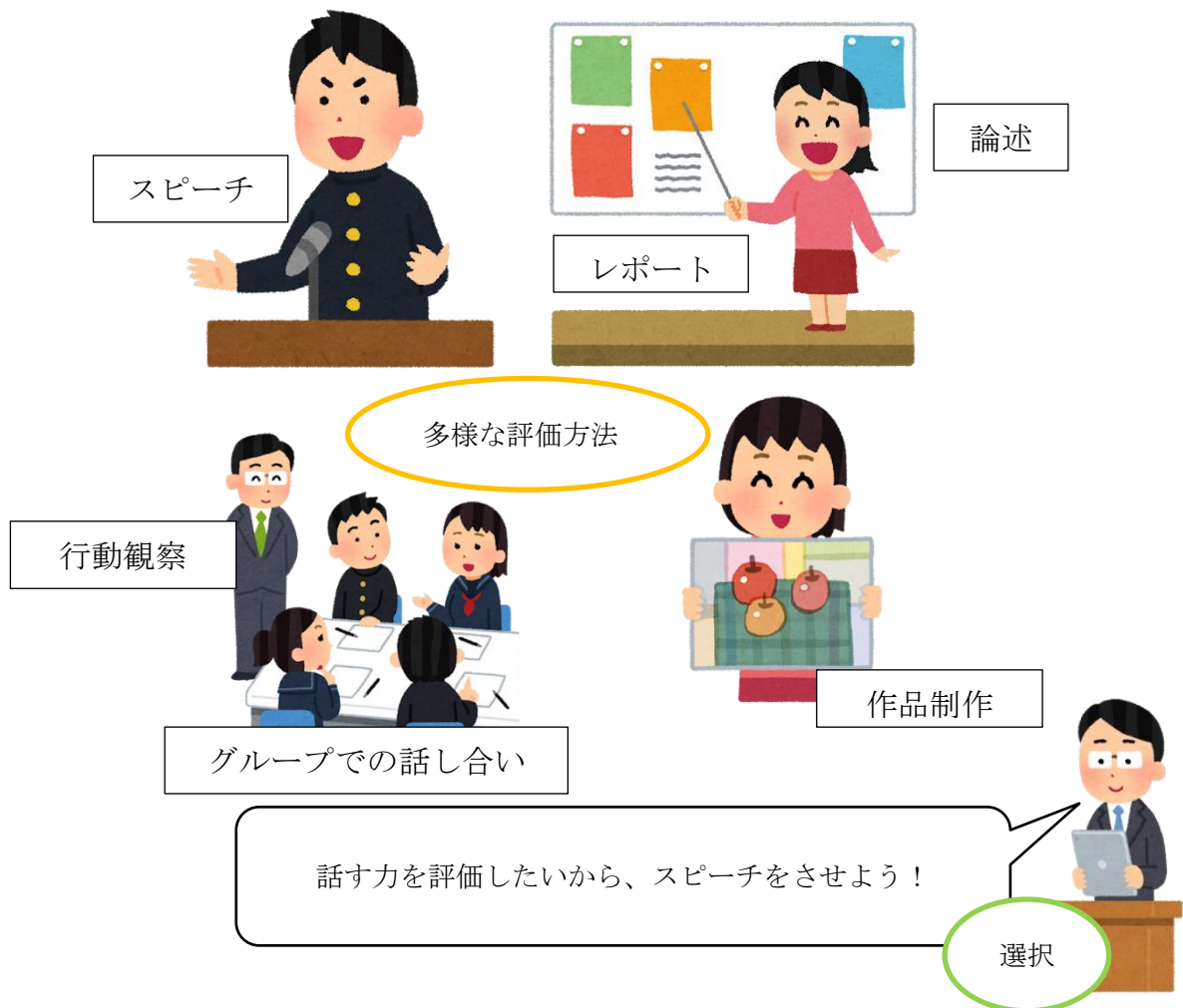


キーワード

○評価方法

ペーパーテストの結果にとどまらない、多面的・多角的な評価を行う。

→多様な評価方法から、その場面における児童の学習状況を**的確に評価できる方法を選択して**評価する。



読んでみよう！

答申(p.62)「[3. 評価に当たっての留意点等](#)」

記録に残す評価と指導に生かす評価

考えてみよう！

・記録に残す評価と指導に生かす評価の違いは？ [【解答例】](#)



キーワード

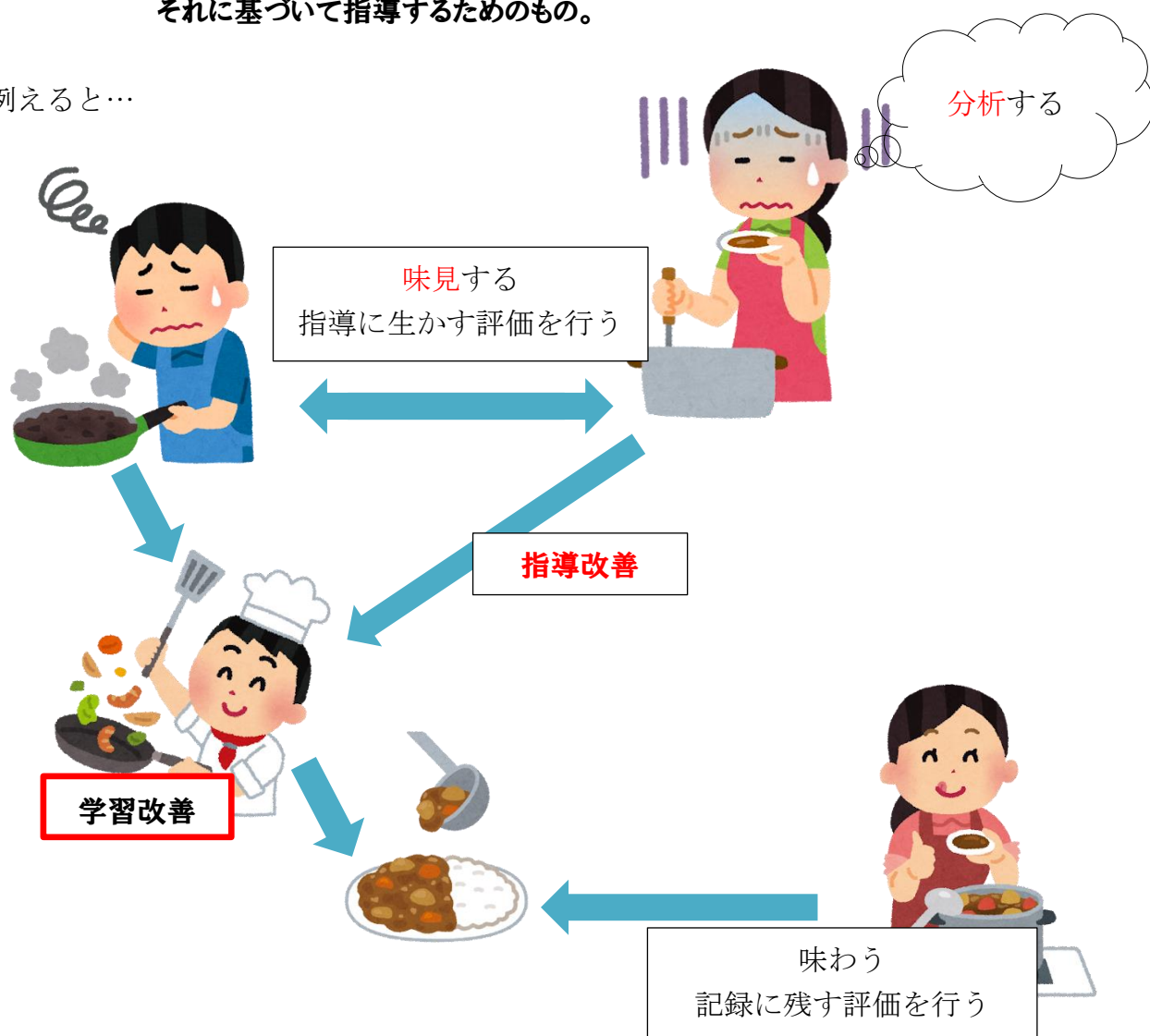
○記録に残す評価 ○評定 ○指導に生かす評価

記録に残す評価…ある一定期間の学習状況进行评估するもの。

評定は、記録に残す評価の情報に基づいて行われる。

指導に生かす評価…児童生徒一人一人の学習状況について成果や課題を明らかにし、
それに基づいて指導するためのもの。

料理で例えると…



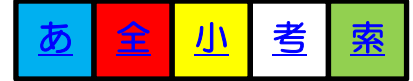
読んでみよう！

答申(p.62)「[3. 評価に当たっての留意点等](#)」

評価規準

考えてみよう！

・評価規準（のりじゅん）とは何だろう？ [【解答例】](#)



キーワード

○評価規準 ○目標に準拠した評価

評価規準…児童生徒が自ら獲得し身につけた資質や能力の**具体的な姿を文章表記**したもの。



読んでみよう！

資料(p.3)「[\(参考\) 評価規準の設定 \(抄\) 文部省 \(平成5年9月\) より](#)」

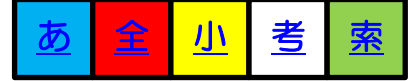
資料(p.14)「[\(2\) 「内容のまとめりごとの評価規準」とは](#)」

評価基準と評価規準

考えてみよう！

・評価基準（もとじゅん）と評価規準（のりじゅん）の違いとは何だろうか？ [【解答例】](#)

キーワード



○評価規準

○評価基準

評価規準…児童生徒が自ら獲得し身につけた資質や能力の具体的な姿を文章表記したもの。

評価基準…規準で示された力の習得状況の程度を明示するための指標。

数値や記号が用いられる。

(例)

評価基準	評価規準
A (十分に満足)	相手の反応を確認しながら、相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、(中略)話している。
B (おおむね満足)	相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、自分や第三者ができることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。
C (努力を要する)	助けがあれば、相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、(中略)話している。



どの程度できれば
B(おおむね満足)
レベルなのか

何をどのような観点で評価するのか

目指す児童生徒の姿を具体化

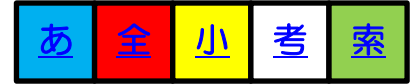
読んでみよう！

資料(p.14)「[\(2\)「内容のまとめりごとの評価規準」とは](#)」

観点別学習状況評価

考えてみよう！

・観点別学習状況評価の役割は何だろう？ [【解答例】](#)

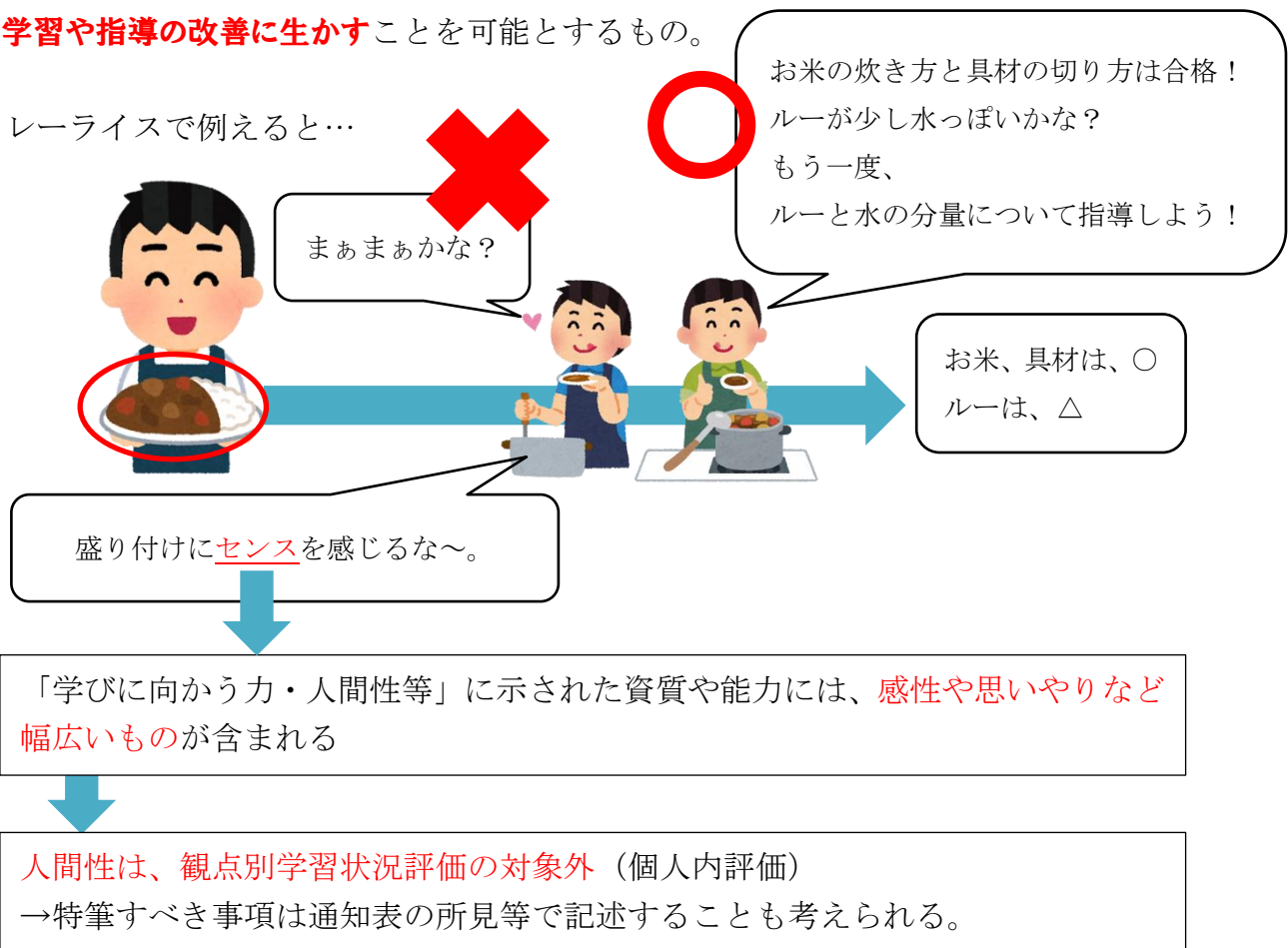


キーワード

○評価規準	○評価基準	○観点別学習状況評価	○学習指導要領	○評定
○個人内評価	○目標に準拠した評価		○学習改善	○指導改善

観点別学習状況評価とは、児童生徒がそれぞれの教科での学習において、**どの観点で望ましい学習状況が認められ、どの観点到課題が認められるかを明らかにすることにより、具体的な学習や指導の改善に生かす**ことを可能とするもの。

カレーライスで例えると…



読んでみよう！

答申(p.61)「[2. 評価の三つの観点](#)」

補足資料(1/8) (p.14)「[観点別学習状況の評価について](#)」

報告(p.6)「[\[図1\] 各教科における評価の基本構造](#)」

報告(p.12)「[観点別の学習状況のばらつき](#)」

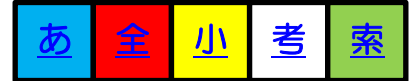
報告(p.19)「[③観点別学習状況の評価と評定の取扱いについて](#)」

※観点別学習状況の評価も評定の一環であることには留意が必要

「知識・技能」の評価

考えてみよう！

・「知識・技能」はどのように評価すれば良いのだろうか？ [【解答例】](#)



キーワード

○観点別学習状況評価 ○学習指導要領 ○評定 ○記録に残す評価 ○評価方法

「何を理解しているか、何ができるか（**生きて働く**「知識・技能」の習得）」

知識及び**技能**の習得状況、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を**理解**したり、**技能**を習得したりしているかを評価する。

評価方法

（例）三角形の面積について

公式の暗記と再生（**知識**）



底辺×高さ÷2

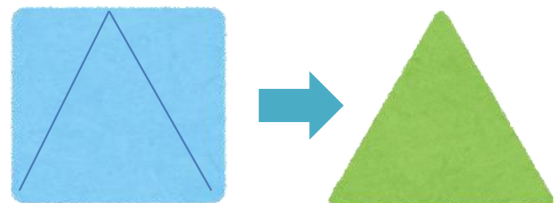


公式を使って問題を解く（**技能**）

三角形の面積は
底辺×高さ÷2で
出すから、
 $4 \times 3 \div 2 = 6$
6 cm²だ！



三角形の面積の求積方法を説明する（**理解**）



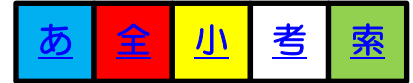
読んでみよう！

資料(p.9)「[\(1\)「知識・技能」の評価について](#)」

「知識」と「技能」の軽重

考えてみよう！

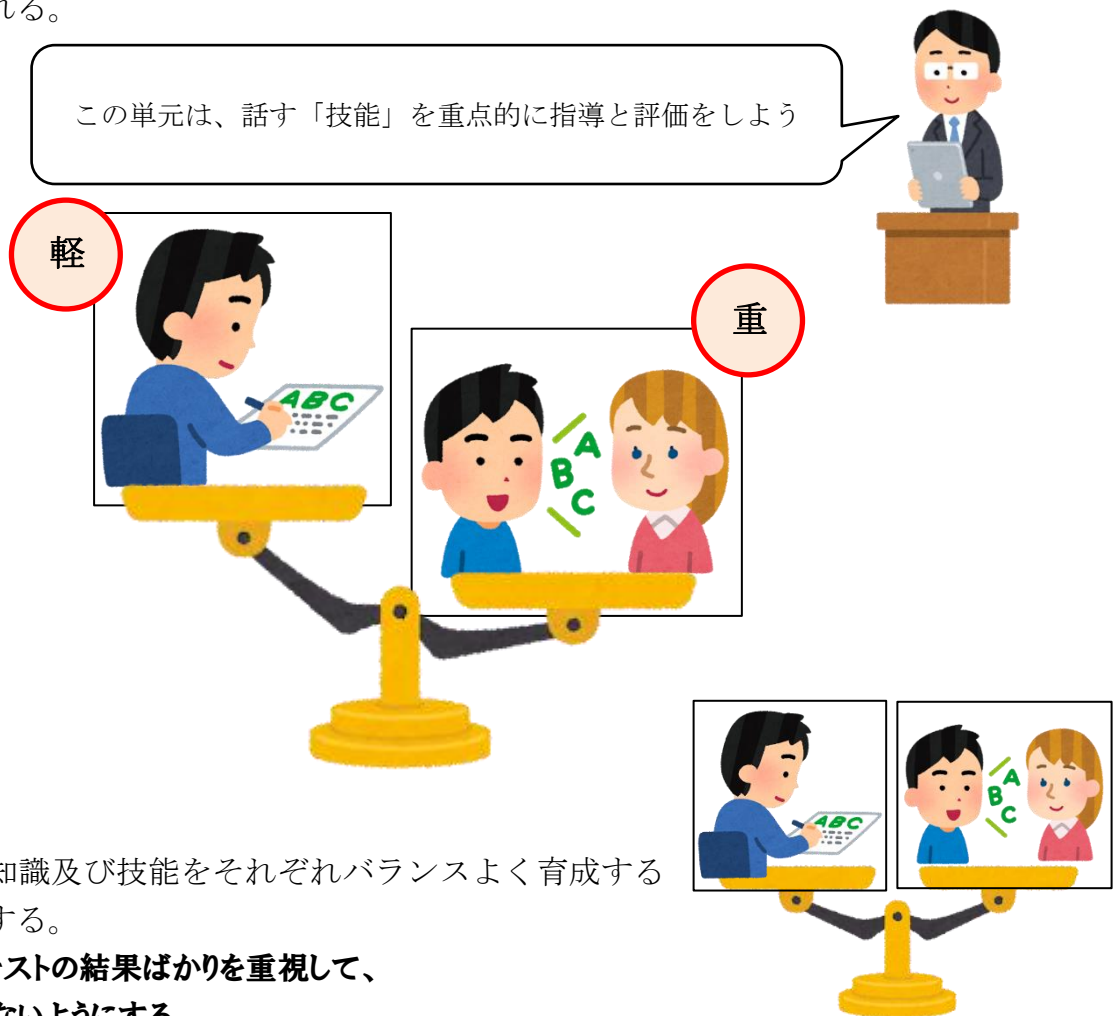
・「知識」と「技能」を分けて評価することはできるのだろうか？ [【解答例】](#)



キーワード

○学習指導要領 ○記録に残す評価 ○ペーパーテスト

学習指導要領の記載や実際の指導内容により、指導や評価において知識と技能に軽重をつけることは考えられる。



年間を通じて、知識及び技能をそれぞれバランスよく育成するべきことを留意する。

→特にペーパーテストの結果ばかりを重視して、
知識偏重にならないようにする。

学習指導要領において指導内容が知識と技能で分けて示されているような場合…

→個別に「知識」、「技能」で記録したものを「知識・技能」の観点に総括していく

読んでみよう！

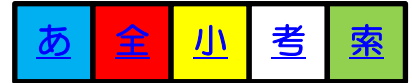
Q&A(p.8) [「知識と技能に軽重をつけてもよいのでしょうか。」](#)

「思考・判断・表現」の評価

考えてみよう！

・「思考・判断・表現」はどのように評価すれば良いのだろうか？

[【解答例】](#)



キーワード

- | | | | |
|------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 観点別学習状況評価 | <input type="checkbox"/> 学習指導要領 | <input type="checkbox"/> 評定 | <input type="checkbox"/> 記録に残す評価 |
| <input type="checkbox"/> 評価方法 | <input type="checkbox"/> ポートフォリオ | | |

「理解していること・できることをどう使うか

(未知の状況にも対応できる)「思考力・判断力・表現力等」の育成

各教科の知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価する。

→教員は、児童生徒が**思考・判断・表現する場面**を効果的に設定した上で、指導・評価することが求められる。

評価方法例



単元や学期の中で

- ・序盤は「知識・技能」の習得を図る
- ・後半に、思考・判断・表現する場面を設定する



作品の制作や表現

グループでの話し合い



ポートフォリオ



レポート作成や発表



読んでみよう！

資料(p.9)「[\(2\)「思考・判断・表現」の評価について](#)」

「主体的に学習に取り組む態度」の評価①

考えてみよう！

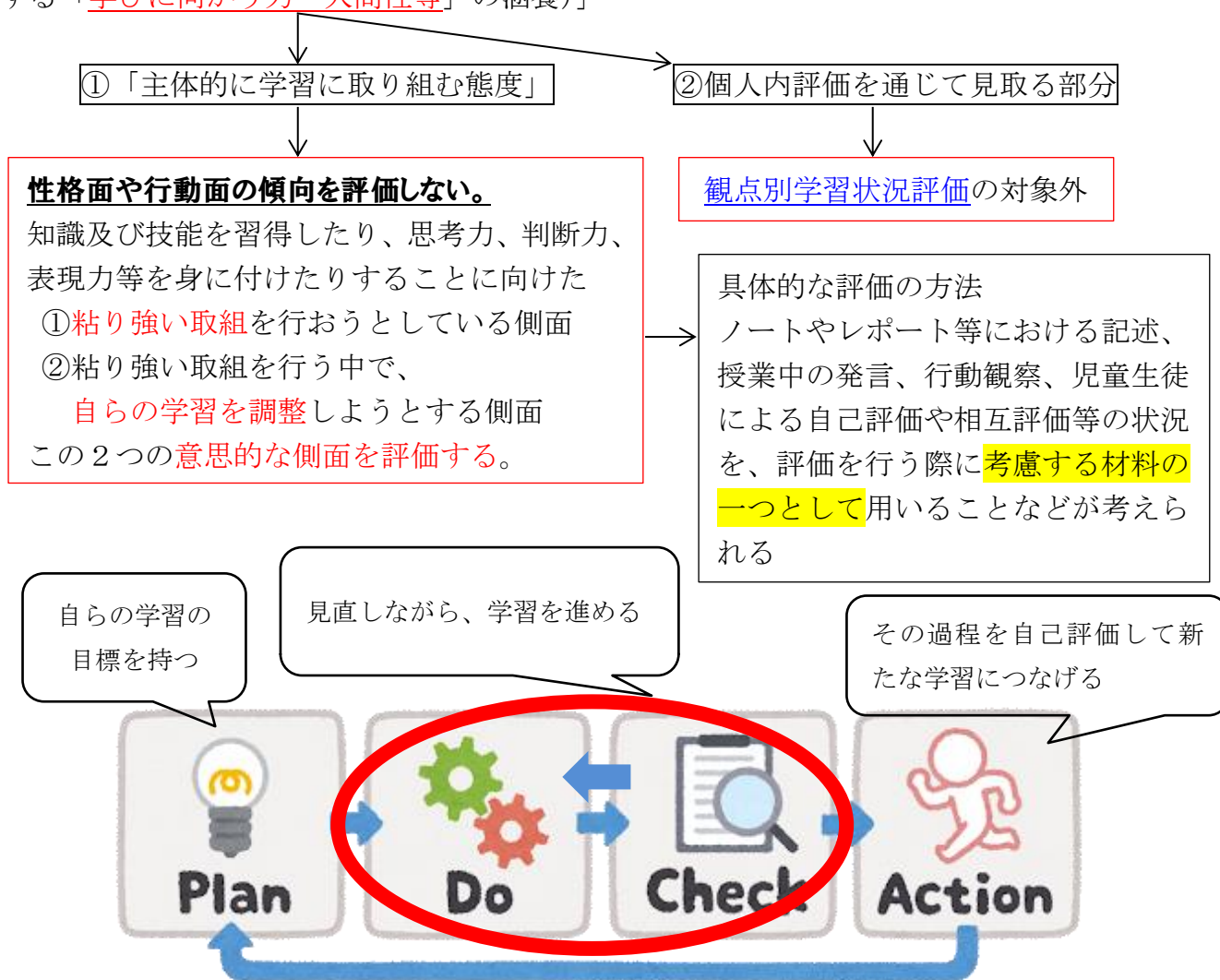
・「主体的に学習に取り組む態度」は何を評価すれば良いのだろうか？ [【解答例】](#)



キーワード

- | | | | |
|------------|---------------|--------|----------|
| ○観点別学習状況評価 | ○学習指導要領 | ○評定 | ○記録に残す評価 |
| ○評価方法 | ○学びに向かう力・人間性等 | ○個人内評価 | |

「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養）」



一時的に表出した態度や学習前の診断的評価のみで判断しない。

読んでみよう！

資料(p.9)「[\(3\)「主体的に学習に取り組む態度」の評価について](#)」

報告(p.10)「[イ「主体的に学習に取り組む態度」の評価の基本的な考え方](#)」

「主体的に学習に取り組む態度」の評価②

考えてみよう！

・「主体的に学習に取り組む態度」を指導や評価する際に気をつけるべきことは何だろう？

【解答例】

キーワード



- | | | |
|------------|----------|-------|
| ○観点別学習状況評価 | ○記録に残す評価 | ○評価方法 |
| ○メタ認知 | ○自己調整 | |

- ・生涯にわたり学習する基盤を培う視点をもつ
→学習の中で、学習者のメタ認知、自己調整が大切にされているか？
- ・学習の調整に向けた取組のプロセスには児童生徒一人一人の特性がある
→特定の型に沿った学習の進め方を一律に指導しない



- ・「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点が十分満足できるものであれば、
基本的には学習の調整も適切に行われている (→[観点別学習状況評価のばらつき](#))
→指導や評価の際に個々人の学習の進め方(学習方略)を損なうことがないように留意する



読んでみよう！

資料(p.9)「[\(3\)「主体的に学習に取り組む態度」の評価について](#)」

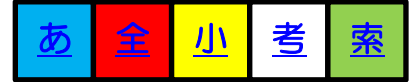
報告(p.10)「[イ「主体的に学習に取り組む態度」の評価の基本的な考え方](#)」

「主体的に学習に取り組む態度」の評価③

考えてみよう！

・児童の「主体的に学習に取り組む態度」を評価する際に気をつけるべきことは何だろう？

【解答例】



キーワード

- | | | | |
|------------|---------|----------|-------|
| ○観点別学習状況評価 | ○学習指導要領 | ○記録に残す評価 | ○評価方法 |
| ○自己調整 | ○授業づくり | ○外国語活動 | |

- ・学習を調整する姿が顕著にみられるようになるのは小学校高学年以降から
→低学年・中学年段階では、学習の目標を教員が「めあて」などの形で提示する
その「めあて」に向かって自分なりに様々な工夫を行おうとしているかを評価する

(例) 他の児童との対話を通して自らの考えを修正すること
立場を明確にして話すこと…など



・「主体的に学習に取り組む態度」を評価する授業デザインのポイント

- ① 自らの理解状況を振り返ることができるような発問の工夫
- ② 自らの考えを記述したり、話し合ったりする場面
- ③ 他者との協働を通じて自らの考えを相対化する場面
- ④ 単元や題材などの内容のまとまりのなかで設定する



読んでみよう！

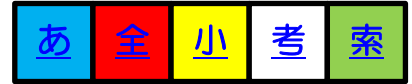
資料(p.9)「(3)「主体的に学習に取り組む態度」の評価について」

報告(p.13)「イ「主体的に学習に取り組む態度」の評価の基本的な考え方」

自己調整とメタ認知

考えてみよう！

・自己調整とメタ認知とは一体何だろう？ [【解答例】](#)



キーワード

- | | | |
|-------------------------------------|------------------------------|----------------------------|
| <input type="radio"/> 観点別学習状況評価 | <input type="radio"/> 学習指導要領 | <input type="radio"/> 評価方法 |
| <input type="radio"/> 主体的に学習に取り組む態度 | <input type="radio"/> 自己調整 | <input type="radio"/> メタ認知 |

メタ認知…自分を俯瞰する(高い所から見下ろす、全体を上から見る)こと

コラム
「何ができていたら自己調整なのですか？」

自分の学習状況をモニタリングする

自分の学習をコントロールする



自己の感情や行動を制御する(コントロール)能力や
自らの思考等の客観的に捉える(モニタリング)力などの
学習に関する自己調整にかかわるスキルが重視されている

読んでみよう！

報告(p.9)「[ア「学びに向かう力、人間性等」との関係](#)」
資料(p.9)「[\(3\)「主体的に学習に取り組む態度」の評価について](#)」

観点別学習状況評価のばらつき

考えてみよう！

- ・単元末や学期末、学年末の結果として観点別学習状況評価に大きなばらつきは生じるのだろうか？生じた場合は、何が原因なのだろうか？ [【解答例】](#)

キーワード



- | | | | |
|------------|---------|-----|----------|
| ○観点別学習状況評価 | ○学習指導要領 | ○評定 | ○記録に残す評価 |
| ○指導改善 | ○評価方法 | | |

単元の導入の段階では、観点別学習状況にばらつきが生じる。

→指導と評価の取り組みを重ねながら授業展開することにより…

単元末や学期末、学年末の結果として[観点別学習状況評価](#)に大きなばらつきは生じない。

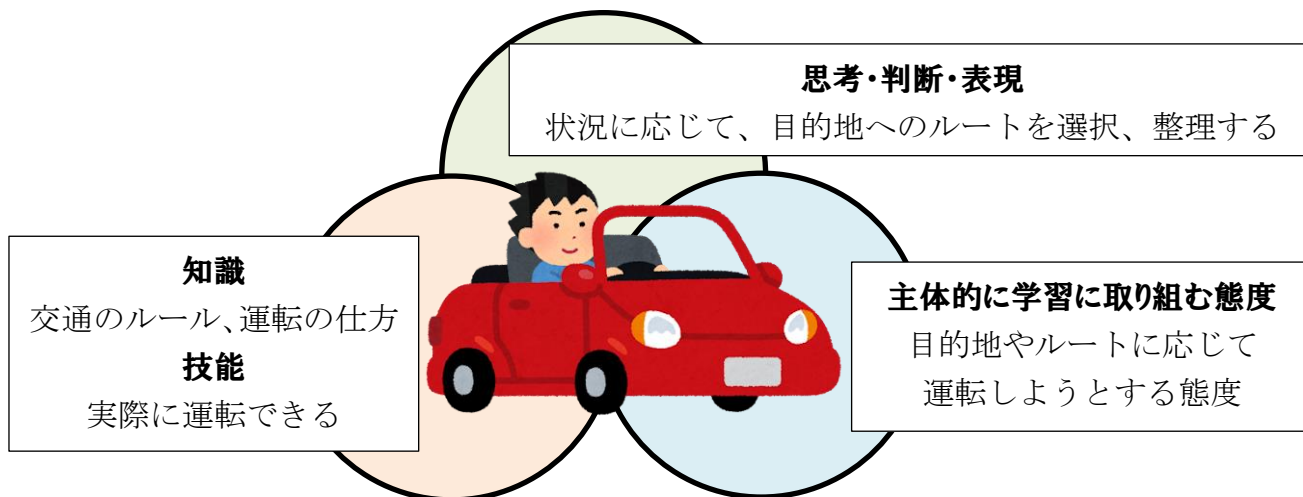
(例)「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」

→「CCA」や「AAC」は生じない。

なぜばらつきは生じにくいのだろうか？

→一つの資質や能力を多面的・多角的に見取っているからである。

雨の日に遊園地に向かって運転ができる能力・資質を例に



読んでみよう！

報告(p.6)「[\[図1\] 各教科における評価の基本構造](#)」

報告(p.12)「[観点別の学習状況のばらつき](#)」

評価と時期

考えてみよう！

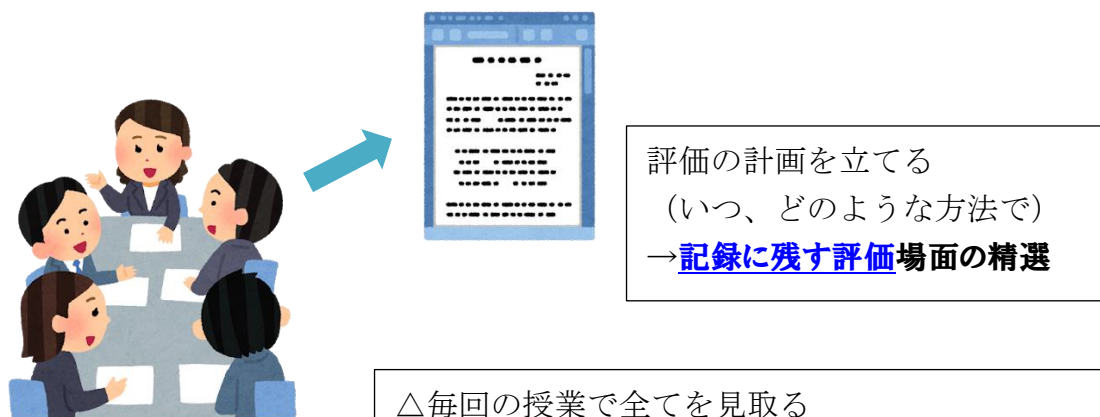
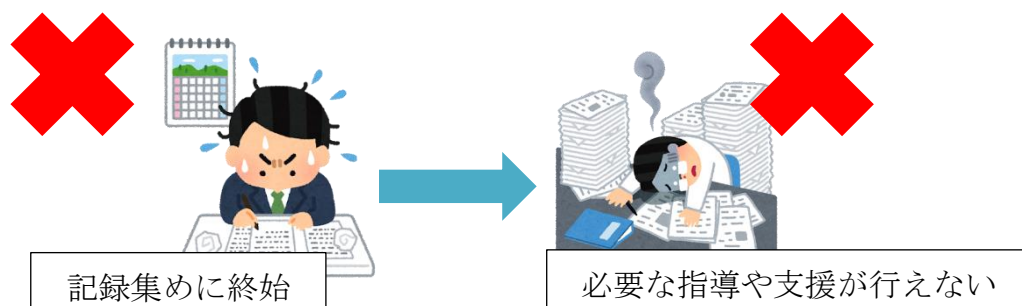
・必要な指導を行わないまま、一方的に評価することがないように必要な手立ては？

【解答例】

キーワード



- | | | | |
|------------|----------|-------|-------|
| ○観点別学習状況評価 | ○記録に残す評価 | ○評価場面 | ○評価方法 |
| ○学習改善 | ○評価場面の精選 | | |



△毎回の授業で全てを見取る

☆単元や題材を通じたまとまりの中で
学習・指導内容と評価場面を組み立てていく

☑評価時期を定め、逆算していく

☆「知識・技能」「思考・判断・表現」の
実現状況が把握できる段階で記録に残す評価を行う

読んでみよう！

報告(p.5) 「(5) 評価を行う場面や頻度について」

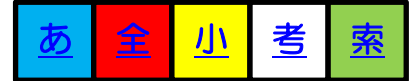
答申(p.61) 「2. 評価の三つの観点」

資料(p.16) 「(4) 評価の計画を立てることの重要性」

評定

考えてみよう！

・評定と観点別学習状況評価の違いは何だろう？ [【解答例】](#)

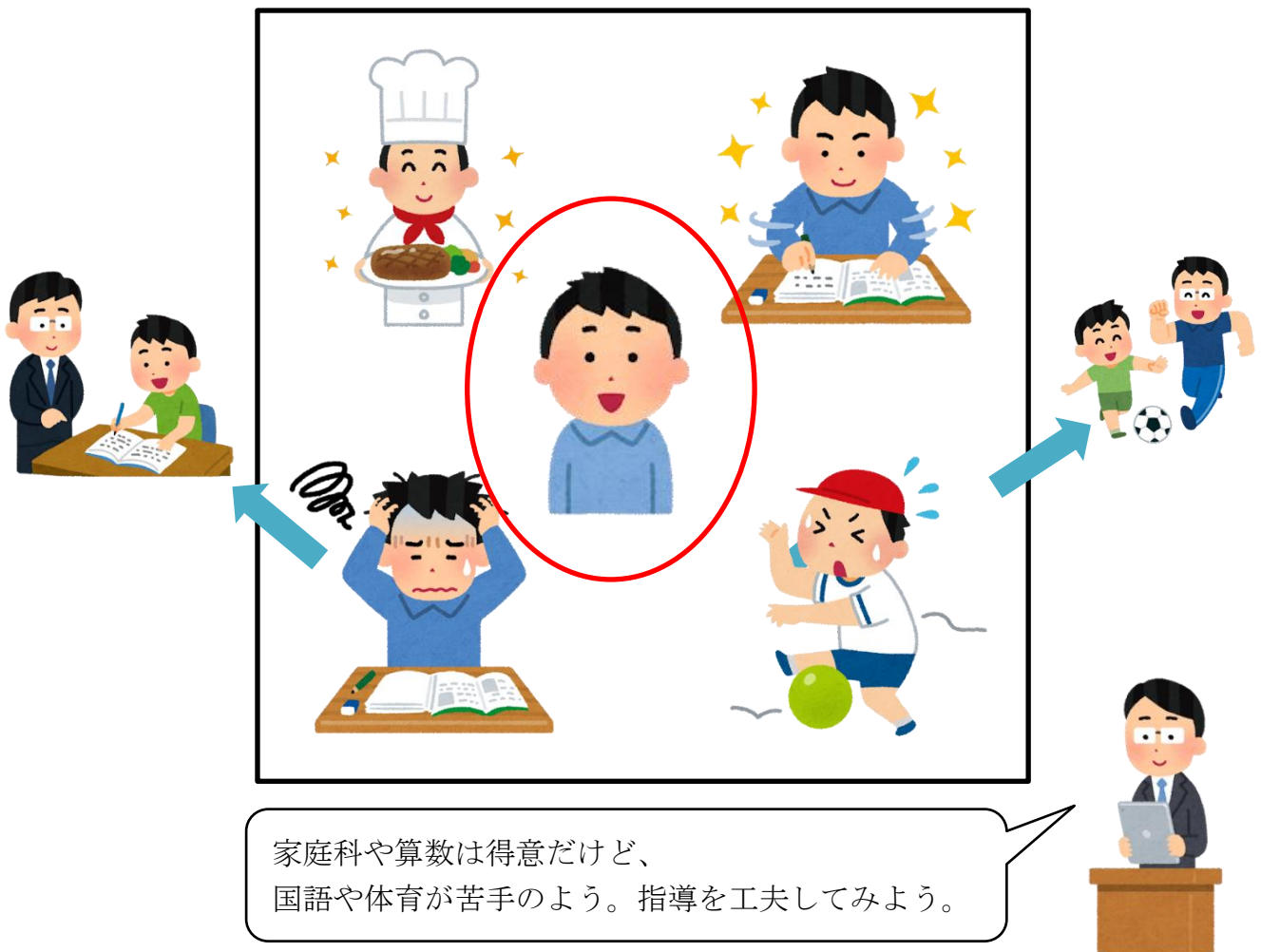


キーワード

○観点別学習状況評価 ○評定 ○記録に残す評価

評定とは、児童生徒がどの教科の学習に望ましい学習状況が認められ、どの教科の学習に課題が認められるのかを明らかにする

→**学習状況の把握と指導や学習の改善**に生かすことを可能とするものである。



読んでみよう！

答申(p.61)「[2. 評価の三つの観点](#)」

報告(p.19)「[③観点別学習状況の評価と評定の取扱いについて](#)」

評定と保護者

考えてみよう！

・保護者に評定の趣旨を理解してもらうためにはどうしたらいいのだろうか？ [【解答例】](#)



キーワード

○観点別学習状況評価	○学習指導要領	○評定	○記録に残す評価
○値踏み	○保護者	○説明責任	○学習改善
			○指導改善

評定は、学習指導要領に定める目標に照らして、その実現状況を総括的に評価するものである。

→その趣旨が十分に浸透していない。

保護者の関心が評定や、学校における相対的な位置付けに集中している。

中学校においては、日常的な評価が入学者選抜に利用される

→教員は評価材料の収集や記録、保護者への説明責任を果たすことに労力を費やす。

→**児童生徒の学習改善や指導改善につながりにくい。**



読んでみよう！

報告(p.21)「[\(8\) 学習評価の高等学校入学者選抜・大学入学者選抜での利用について](#)」

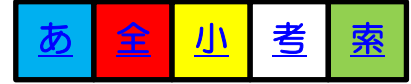
報告(p.27)「[\(3\) 教職員や保護者等の学校関係者、社会一般への周知について](#)」

評価と児童生徒

考えてみよう！

・児童生徒の学習改善につなげるためには、どのような評価が必要なのだろうか？

【解答例】



キーワード

○記録に残す評価	○学習改善	○指導改善	○評価方法	○評価規準
○自己調整	○信頼性	○妥当性	○評価時期	○学習評価の質

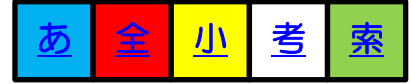
- ・どのような方針によって評価を行うのか**事前に示し、共有しておく** (評価規準や評価方法等)
→ 学習評価の質を高める
- ・身に付けるべき力の**具体的なイメージ**をもたせる
→ 児童生徒が学習の**見通し**がもてる
学習への**自己調整**を図るきっかけとなる

読んでみよう！
報告(p.14)「(4) 評価を行う場面や頻度について」

評価と外部試験

考えてみよう！

・各種の試験や検定等の外部試験の評価に関する留意点は何だろう？ [【解答例】](#)



キーワード

○学習指導要領 ○観点別学習状況評価 ○評定 ○入試 ○検定試験 ○塾



・入試や各種の試験、検定等は、学習指導要領とは必ずしも目標や評価の視点が同じではない。

・評定が入試に利用される場合
→観点別学習状況評価を評定として総括する際の観点ごとの重み付けが学校によって異なることに留意する。

学習塾等に通っている児童にとっても…

学習塾等の目標や評価の視点が、学習指導要領の目標や評価の視点と必ずしも一致しないということに留意しながら指導する。

→学校教育の中でどのような資質・能力を目指すのかを明確にする。



小学校外国語の教科化に伴い…

中学校における入試に外国語が実施されることも考えられる。

→小学校段階の英語学習の目標を踏まえ、学習者に過度の負担とならないように十分に配慮する



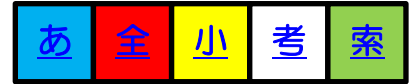
読んでみよう！

報告(p.14)「[\(4\) 評価を行う場面や頻度について](#)」

評価と教員研修

考えてみよう！

・教員研修の中で、どのような力を培っていけば良いのだろうか？ [【解答例】](#)



キーワード

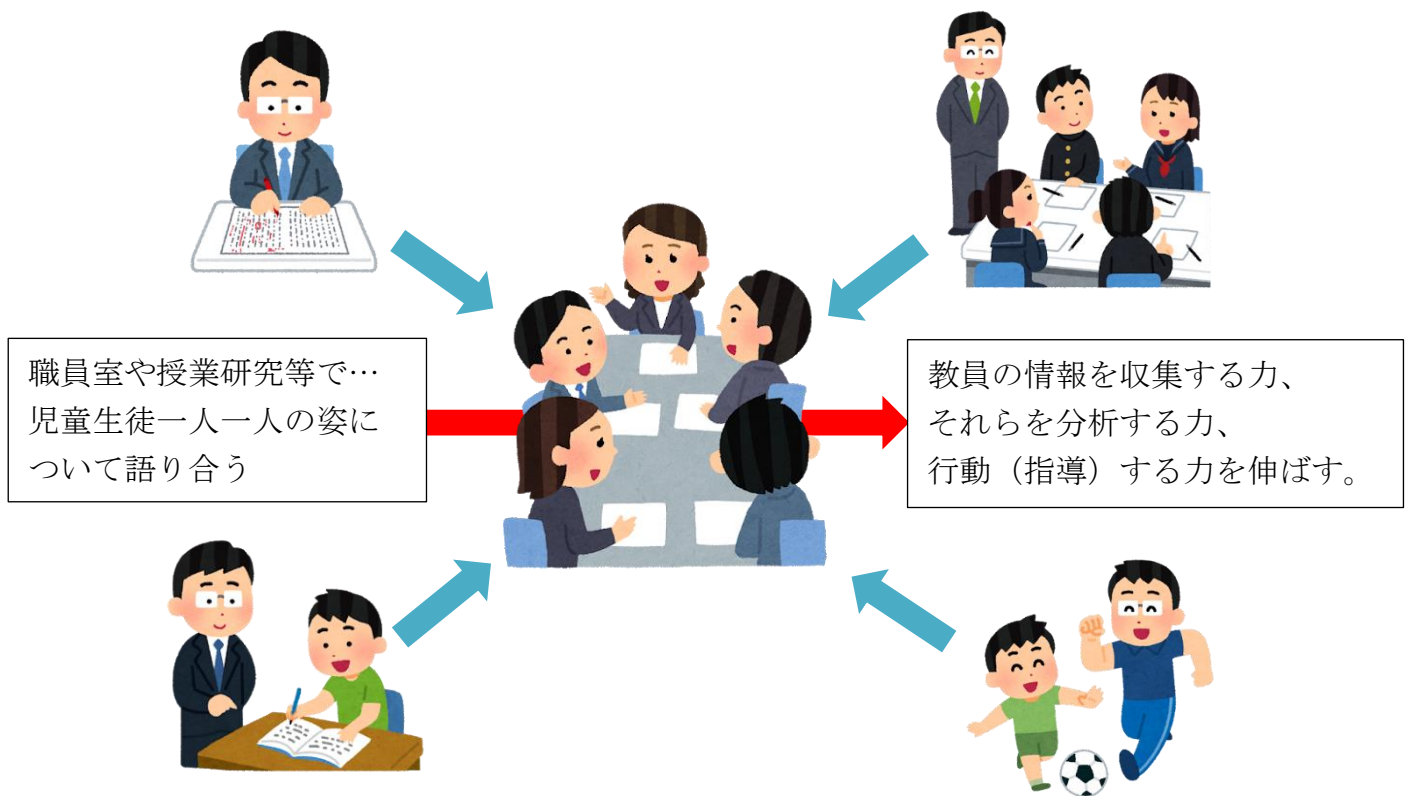
○評価方法 ○教員研修 ○指導改善 ○学習改善 ○学習評価の質
○信頼性 ○妥当性

教員はペーパーテストの結果にとどまらない、多面的・多角的な評価を行う。

学習評価の質を高める環境づくりが必要となる

「教員は学校で育つ」→日常的に学び合う校内研修の充実

教員一人一人が児童生徒の学習の質を捉えることができる目を培う



読んでみよう！

答申(p.62)「[3. 評価に当たっての留意点等](#)」

答申(p.64)「[第10章 実施するために何が必要か—学習指導要領等の理念を実現するために必要な方策—](#)」

パフォーマンス評価

考えてみよう！

・パフォーマンス評価を行うメリットと注意点は何だろう？ [【解答例】](#)



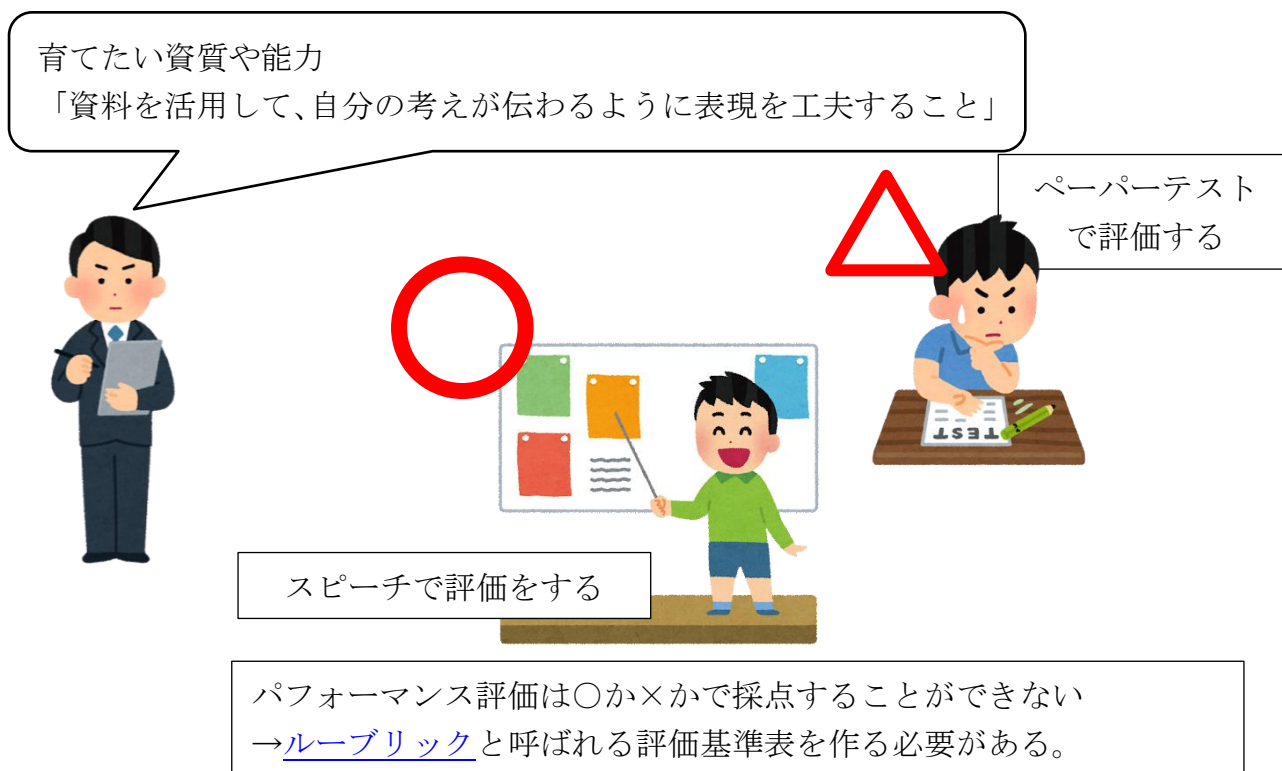
キーワード

- | | | | |
|------------|-------|--------|-----------|
| ○観点別学習状況評価 | ○評価方法 | ○知識・技能 | ○思考・判断・表現 |
| ○ルーブリック | ○評価規準 | | |

パフォーマンス評価→児童生徒が**様々な知識や技能を使いこなし**、課題を解決する状況进行评估するもの。

直接観察しにくい資質や能力をできる限り可視化できるようにする。

(例) エッセイ、レポート、ディベート、朗読、実験、作品制作など



読んでみよう！

答申(p.62)「[3. 評価に当たっての留意点等](#)」

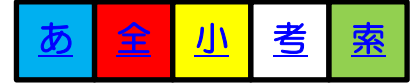
補足資料(1/8) (p.16)「[多様な評価方法の例](#)」

答申(p.195)「[外国語教育における学習課題](#)」

ルーブリック

考えてみよう！

・ルーブリックを用いて評価を行うために、必要なことは何だろうか？ [【解答例】](#)



キーワード

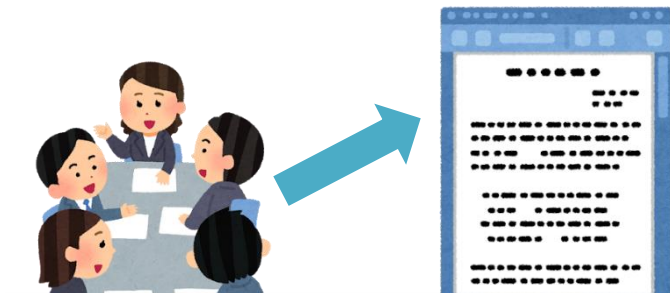
○観点別学習状況評価	○パフォーマンス評価	○評価方法	○知識・技能
○思考・判断・表現	○指導改善	○評価規準	○評価基準

ルーブリック→児童生徒の学習状況や成果を、**行為の質的な特徴**をもとにレベル別に分類できるもの。

ルーブリックの作り方

成功の度合いを示す 数値的な尺度や評語	それぞれの数値や評語に見られる 行為の質的な特徴
A(よくできる)	相手の反応を確認しながら、相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、(中略)話することができる。
B(できる)	相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、自分や第三者ができることやできないことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話することができる。
C(がんばろう)	助けがあれば、相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、(中略)話することができる。

単元の評価規準などをもとにB(できる)から作成する。
→AやCが作りやすくなる。



共同でのルーブリック作り→指導改善
(必要な力を確認、つまづきを予測)

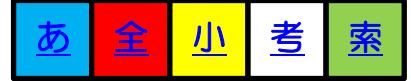
各レベルの事例を整理すると、
各レベルの特徴がより明確になる。

読んでみよう！
答申(p.62)「[3. 評価に当たっての留意点等](#)」
補足資料(1/8)(p.16)「[多様な評価方法の例](#)」

ポートフォリオ

考えてみよう！

・ポートフォリオで評価することのメリットは何だろう？ [【解答例】](#)

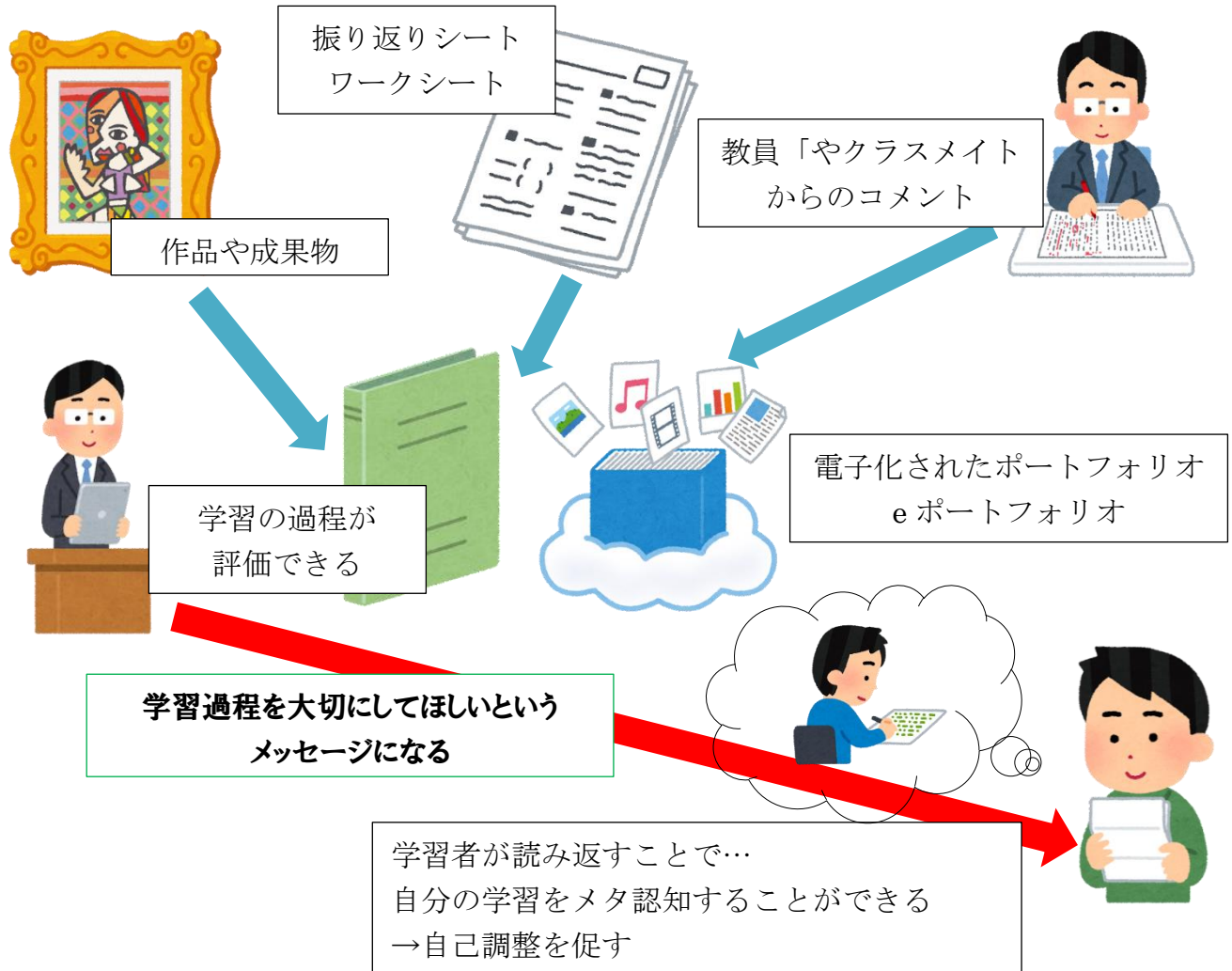


キーワード

- | | | | |
|-----------|------------|----------------|-------|
| ○指導に生かす評価 | ○観点別学習状況評価 | ○主体的に学習に取り組む態度 | |
| ○思考・判断・表現 | ○評価方法 | ○自己調整 | ○メタ認知 |

ポートフォリオ→学習の過程で生み出されたものや成果物を蓄積するもの。

もともとは、芸術家が自分のセールスポイントを示すために過去の作品や関連資料を綴っていたファイルのことを指していた。



読んでみよう！

答申(p.62)「[3. 評価に当たっての留意点等](#)」

補足資料(1/8) (p.16)「[多様な評価方法の例](#)」

外国語教育における評価の課題

考えてみよう！

・外国語教育においては、評価における課題はどのようなものがあるのだろうか？

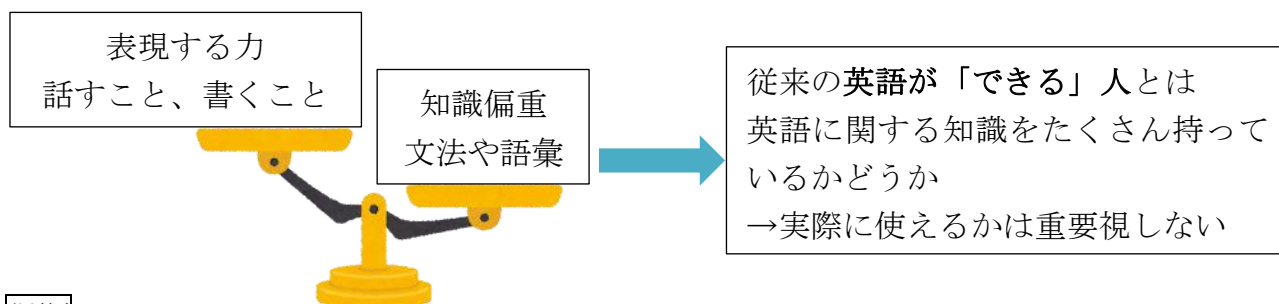
【解答例】

キーワード



○学習指導要領 ○評価方法 ○言語活動 ○話すこと ○書くこと

文法・語彙等の知識がどれだけ身に付いたかという点が重点化され、**それだけが評価されてきた。**



課題

- 「話すこと」及び「書くこと」などの言語活動が十分に行われていないこと
 - 知識や経験を生かして、コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて適切に表現すること
 - 外国語によるコミュニケーション能力の育成を意識した取組が必要
 - 言語活動を通して**外国語の資質・能力**を高める

「外国語を使って何ができるようになるか」

聞くこと

読むこと

話すこと [やり取り]

話すこと [発表]

書くこと



※学習指導要領では、「外国語を使って何ができるようになるか」という観点から目標が示されており、**すべて「～できるようにする」という形で具体的に示されている。**

読んでみよう！

答申(p.85)「(2) 言語能力の育成と国語教育、外国語教育の改善・充実」

解説(p.75)「第2節 英語 1 目標」

小学校外国語教育における目標

考えてみよう！

・外国語活動、高学年の外国語科、中学校の外国語科の目標はどのように違うのだろうか？

[【解答例】](#)

キーワード



○学習指導要領 ○言語活動 ○外国語活動 ○読むこと ○書くこと

音声中心

外国語活動

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

「読むこと」、「書くこと」を加えた教科として

外国語科

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

※高学年の外国語科の目標については、学年ごとに示されていない。

→2 学年間を通した弾力的な指導を行うことができる。

中学校 外国語科

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

読んでみよう！

解説(p.11)「[第2章 外国語活動の目標及び内容](#)」

解説(p.67)「[第2章 外国語科の目標及び内容](#)」

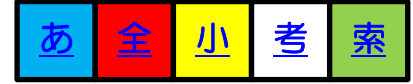
解説(p.161)「[中学校学習指導要領 第2章 第9節 外国語](#)」

外国語教育における言語活動

考えてみよう！

・外国語教育においては、どのようなものを言語活動と捉えるのだろうか？ [【解答例】](#)

キーワード



○言語活動

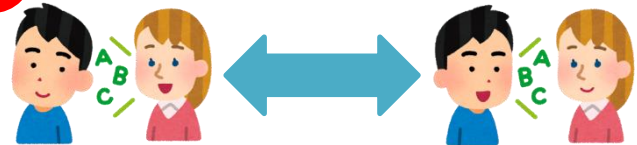
他教科の言語活動…話し合いや説明、レポートの作成など。

外国語活動・外国語科における言語活動…

「実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う活動」



ドリルのような単なる繰り返し



言語の使用場面	言語の働き
<ul style="list-style-type: none"> ○児童の身近な暮らしに関する場面 ○特有の表現がよく使われる場面 (挨拶、自己紹介、買物、食事、道案内、旅行など) 	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションを円滑にする ○気持ちを伝える ○事実・情報を伝える ○考えや意図を伝える ○相手の行動を促す

を意識して行う。

そのために、具体的な課題を設定する

→その目的を達成するために必要な言語材料を**取捨選択**して活用できるようにすること。



読んでみよう！

解説(p.67)「[第2章 外国語科の目標及び内容](#)」

解説(p.100)「[\(3\) 言語活動及び言語の働きに関する事項](#)」

どのように授業づくりをすればいいか悩んでいます

評価（授業）のバックワードデザインを意識しましょう。

- ① 単元の目標を作成する
- ② 単元の[評価規準](#)を作成する
- ③ 「指導と評価の計画」を作成する
※評価場面や[評価方法](#)等を計画する。
- ④ 授業を行う。
※児童の学習改善や教員の指導改善につなげる。
- ⑤ 観点ごとに総括する。

児童にどんな力をつけさせたいかを考えることで、その力を見取るためにどんな活動をさせて評価すればよいか、その活動から見えた児童の課題をどのように学習改善につなげたら良いかを考えましょう。

また帯活動としてのフォニックスや書く活動、読む活動を入れることで45分の授業が出来るようになります。

読んでみよう！

今井典子・高島英幸 (2015). 『小・中・高等学校における学習段階に応じた英語の課題解決型言語活動—自律する言語使用者の育成』 東京書籍

太田洋一・阿野幸一 (2019). 『小学校はじめの一步—授業づくりのポイント』 大修館書店

大塚謙二 (2015). 『Q&A 英語授業に悩んだら読む本』 学陽書房

資料(p.37) 「[第1章 「内容のまとめり（五つの領域）ごとの評価規準」の考え方を踏まえた評価規準の作成](#)」



外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方

考えてみよう！

・外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方とは何だろう？ [【解答例】](#)

キーワード



○言語活動 ○思考・判断・表現 ○外国語活動

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方とは

「外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること」

【見方】 外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え

書かれている外国語やイラストに着目
その意味や文化について考えることができる
→外国語教育において重要である



素材や重さ、色など
→他教科の見方・考え方では重要

【考え方】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること

自分のことをよく知ってもらうために（目的）自己紹介を行う場合

場面や状況が違えば、



目的を達成するために

- ①何を伝えればよいかを整理する
- ②どのような表現が適切なのかを考えるようになる

読んでみよう！

解説(p.11)「[第2章 外国語活動の目標及び内容](#)」

解説(p.67)「[第2章 外国語科の目標及び内容](#)」

小学校外国語教育における評価計画

考えてみよう！

- ・小学校外国語教育における評価計画は作る際に、どのようなことに気をつければ良いのだろうか？ [【解答例】](#)



キーワード

○評価規準 ○評価方法 ○評価計画 ○記録に残す評価 ○評価場面の精選

こんな評価（単元）計画になっていませんか？

時	目標（◆）と 主な活動（【 】, ○）	◎評価<方法>		
		知 技	思 判 表	態 度
				◎◎◎ 評価規準（評価方法）
1	(略)	◎		◎
2	(略)	◎		
3	(略)	◎		
4	(略)		◎	
5	(略)	◎	◎	
6	(略)	◎	◎	◎

単元のはじめに「記録に残す評価」を計画するのは適切でしょうか？

評価場面の精選
本当にこの計画通り評価できるのでしょうか？

評価計画（例）

時	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	記録に残す評価は行わない。児童の活動状況に合わせて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないように十分留意する。		
2			
3			
4	テキスト分析「聞くこと」	Let's Talk「話すこと [やり取り]」	
5	ワークシート分析「聞くこと」		
6		Activity 2「話すこと [やり取り]」	
後日	パフォーマンステスト		

読んでみよう！

資料(p.16) 「[\(4\) 評価の計画を立てることの重要性](#)」

資料(p.49) 「[本単元における「聞くこと」「話すこと \[やり取り\]」の評価場面（事例1）](#)」

中資料(p.48) 「[第2章 学習評価に関する事例について 1 事例の特徴](#)」

ガイドブック(p.175) 「[4 評価を工夫しよう！](#)」

専科教員がいる学校と担任が授業をしている学校では評価方針に大きな違いが生じているのではないのでしょうか？

各学校の評価方針があるため、全てを統一することは難しいです。

以下のことに取り組めば、大きな違いが生じることは少ないと考えられます。

- ・小学校卒業までに目指す資質・能力を明確にする。
- ・実際の評価場面において、「十分満足できる」状況は多様な姿が想定されるため、実例を集める。
- ・その実例を共有する場をつくる。

特に実例を集める、「十分満足できる」状況の事例や評価方法の事例を集めることは今後の課題です。

学年間ではもちろん、職員室内や他の学校、異校種間での共有する場面は必要になってくるはずです。

評価規準に関する資料については、石井・鈴木(2021)に付録としてまとめてあります。

読んでみよう！

石井英真・鈴木秀幸 (2021). 『ヤマ場をおさえる学習評価 小学校』図書文化社



小学校外国語教育における知識・技能①

考えてみよう！

・小学校外国語教育における知識は、どのようなことを指導し、評価すれば良いのだろうか？

【解答例】

キーワード



○評価方法 ○知識・技能 ○記録に残す評価 ○指導に生かす評価

「**生きて働く**『知識・技能』の習得」を目指す。

知識…英語の特徴やきまりに関する事項を指導と評価をする。

- ・音声
- ・文字及び符号
- ・文及び文構造
- ・語、連語及び慣用表現

get up、look up などのように二つ以上の語が結び付いて、まとまった意味を表すもの。
→活用頻度の高い基本的なものを取り上げる。

ある特定の場面で用いる定型的な表現、日常生活でよく用いられる様々な慣用表現。
→円滑なコミュニケーションを可能とするために、慣用表現を場面に応じて使用できるように指導する。

知識を評価するには、ペーパーテストを実施し、**全員を同時に**評価することが可能である。ただし、ペーパーテストのみで記録に残す評価をするのではなく、指導に生かす評価に使うものとして考えるほうが好ましい。



読んでみよう！

解説(p.69) 「第1節 外国語科の目標」

解説(p.83) 「[知識及び技能] (1) 英語の特徴やきまりに関する事項」

資料(p.30) 「(1) 「内容のまとめり (五つの領域) ごとの評価規準を作成する際の【観点ごとのポイント】」

小学校外国語教育における知識・技能②

考えてみよう！

・小学校外国語教育における技能は、どのようなことを指導し、評価すれば良いのだろうか？

【解答例】

キーワード



○評価規準 ○評価方法 ○評価時期 ○知識・技能 ○言語活動

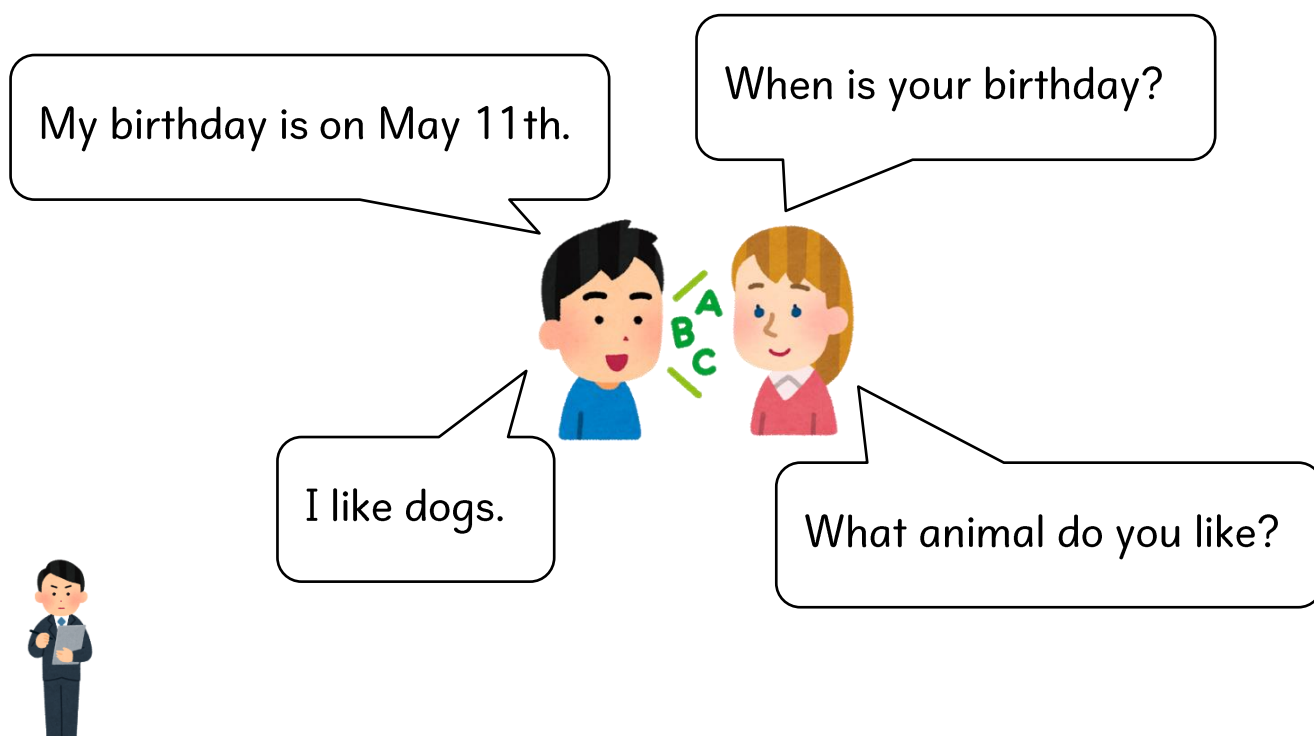
技能…言語材料と言語活動を効果的に関連付け、**実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能**を指導と評価をする。

小学校外国語教育における知識は、技能の習得状況から…

「使うことができる」

「理解している」

といった側面も**一体的に評価することができる。**



誕生日の言い方や I like ~. の使い方、What ~ do you like? や When is your birthday? の答え方について理解していると捉えることができる。

※ただし、全員を同時に評価することは難しいので評価時期や評価方法に留意する。

読んでみよう！

解説(p.83)「[知識及び技能] (1) 英語の特徴やきまりに関する事項」

中資料 (p.71)「特定の言語材料に焦点を当てた「知識・技能」の評価【事例4】」

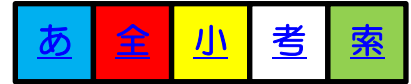
小学校外国語教育における思考・判断・表現

考えてみよう！

・小学校外国語教育における「思考・判断・表現」をどのように評価すれば良いのだろうか？

【解答例】

キーワード



○評価方法 ○観点別学習状況評価 ○思考・判断・表現 ○パフォーマンス評価

外国語によるコミュニケーションを行う目的や場面、状況は必須である。

外国語教育における思考…情報を整理する

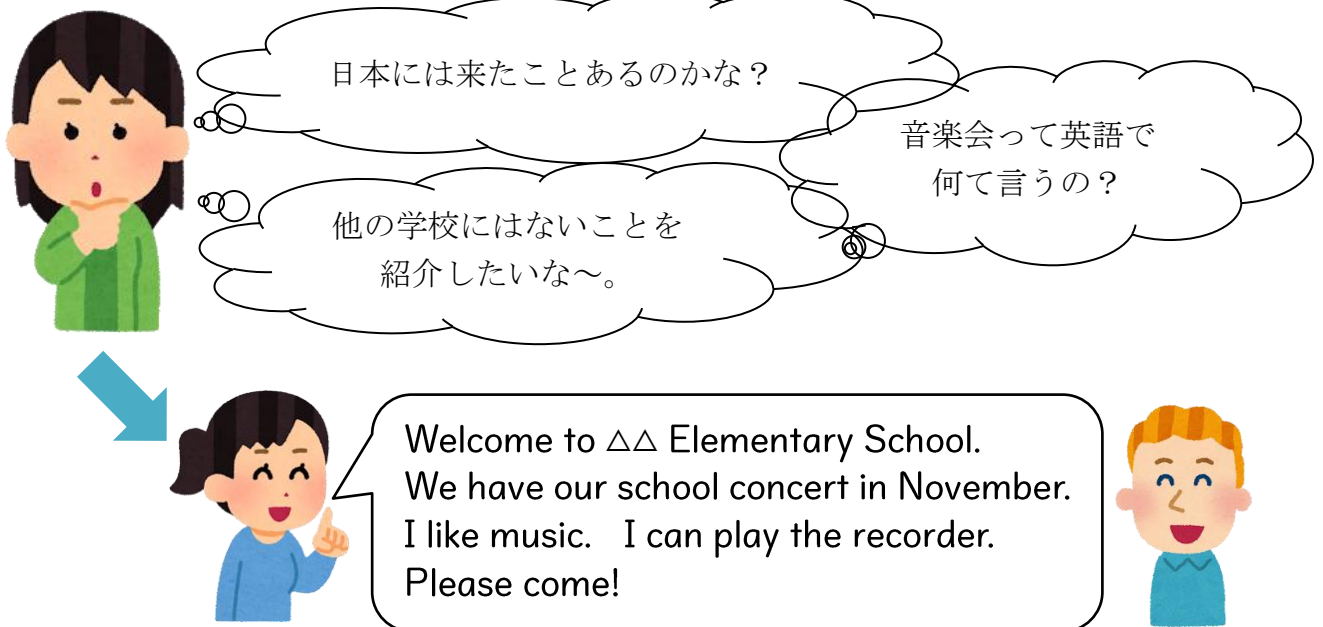
外国語教育における判断…情報を**取舍選択**する

外国語教育における表現…聞いたことや読んだことを表現する
表現（話す、書く）する

パフォーマンス課題例 「話すこと [発表]」

新しいALTの〇〇先生が△△小学校にやってきます。〇〇先生は、△△小学校に週1回しか来ません。〇〇先生が△△小学校のことが好きになるように学校紹介をしましょう。

目的を達成するために、児童は様々なことを思考し、判断し、表現する。



読んでみよう！

資料(p.9) 「[\(2\)「思考・判断・表現」の評価について](#)」

資料(p.30) 「[\(1\)「内容のまとめり（五つの領域）ごとの評価規準を作成する際の【観点ごとポイント】](#)」

小学校外国語教育と「発音」について

考えてみよう！

・小学校外国語教育において、「発音」はどのように指導と評価をすれば良いのだろうか？

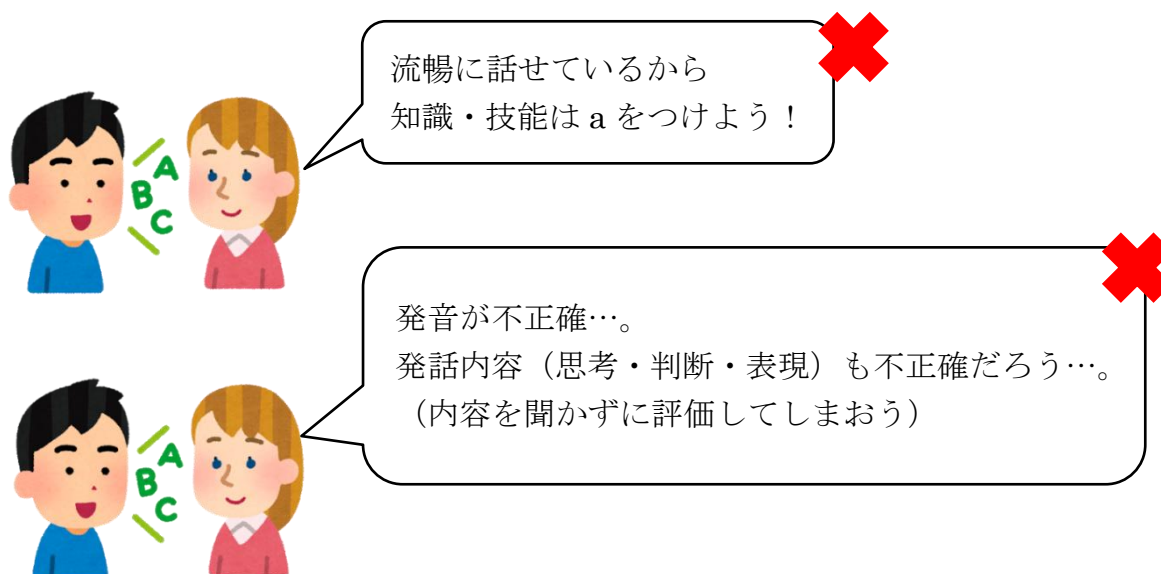
【解答例】



キーワード

- | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 観点別学習状況評価 | <input type="checkbox"/> 評価規準 | <input type="checkbox"/> 評価方法 | <input type="checkbox"/> 知識・技能 |
| <input type="checkbox"/> 学習指導要領 | <input type="checkbox"/> 音声 | | |

「音声」の特徴を捉えて話すことについては、それ自体を観点別評価の規準としない。



ネイティブ・スピーカーや英語が堪能な地域人材を活用したり、デジタル教材等を活用したりして適切に指導を行う。



- ・多様な人々とのコミュニケーションが可能となる発音
 - ・英語特有のリズムや音の変化
- I have a pen. It is good. ※語の連結
- ・アクセント
 - ・文における基本的なイントネーション
- Do you have P.E. on Mondays? ↗

読んでみよう！

資料(p.30) 「(1)「内容のまとめり（五つの領域）ごとの評価規準を作成する際の【観点ごととポイント】」

中資料 (p.53) 「【事例1】【例2】」

解説(p.84) 「ア 音声」

「話すこと [やり取り]」の評価

考えてみよう！

- ・小学校外国語教育における「話すこと [やり取り]」の指導と評価をどのようにすれば良いのだろう？ [【解答例】](#)

キーワード

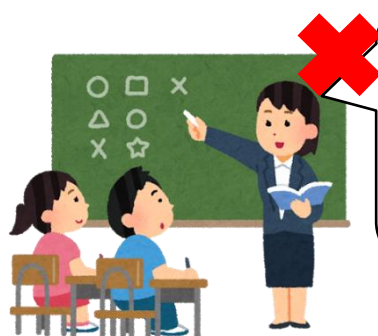


○評価規準 ○評価方法 ○「話すこと」

「話すこと [やり取り]」の評価については、ペアになる相手によって条件が変わることも考えられる。

→学期に1回程度の[パフォーマンステスト](#)において**全児童を、条件を一定にそろえて見取ることも考えられる。**

学期末のパフォーマンステストに至るまでの指導



「この表現を使って話すよ」
「ペアの一方はこのような質問して、もう一方はこういう風に答えるよ。」
→具体的な指示や、やり取りのパターンを示さない。



When is your birthday?
Do you like chocolate?
Do you like baseball?
What color do you like?

- ・何を話したり、聞いたりすればよいか。
- ・それをどのように英語で表現するか。

※帯活動などで、使用させたい[言語材料](#)を教員が自ら使って、児童とやり取りをすることも良い。

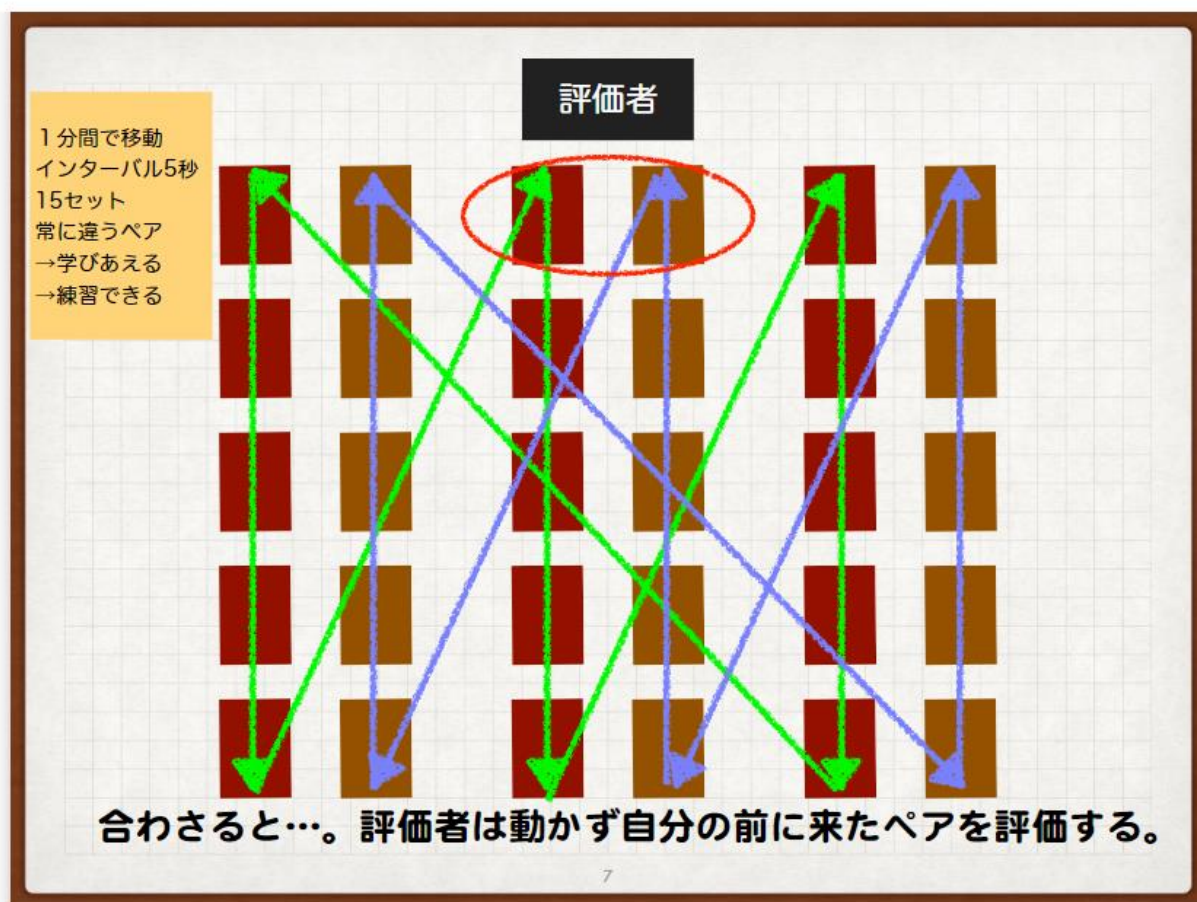
読んでみよう！

資料(p.54) 「[「話すこと」\[やり取り\]の評価場面](#)」の指導と評価」

中資料 (p.54) 「[7 指導について【事例1】](#)」

たくさんの人数をどのように評価すればいいのですか？

「大移動トーク」を勧めています。
児童や教員の慣れも必要ですが、「短時間」で「たくさんの人数」を評価することができます。
ALT や担任と評価規準やルーブリックを確認することで、複数の評価者で児童の学びを評価することができます。



読んでみよう！

今井裕之・吉田達弘・兵庫教育大学 HOPE 開発プロジェクト (2007). 『HOPE—中高生のための英語スピーキングテスト』教育出版

静 哲人 (2009). 『英語授業の心・技・体』研究社



「聞くこと」の評価

考えてみよう！

・小学校外国語教育における「聞くこと」の指導と評価をどのようにすれば良いのだろうか？

【解答例】

キーワード



○評価方法 ○評価規準 ○知識・技能 ○思考・判断・表現

聞くことの「知識・技能」について
目標が具体化されている



I like summer.
I like swimming very much.



Summer.

- ・自分のことや身近で簡単な事柄について
- ・簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる



→簡単な語句や基本的な表現を聞いて(×英単語だけを聞く)理解した内容とイラストや写真に描かれている非言語情報とを照らし合わせる活動などが考えられる。

聞くことの「思考・判断・表現」について

「ゆっくりはっきりと話されれば」

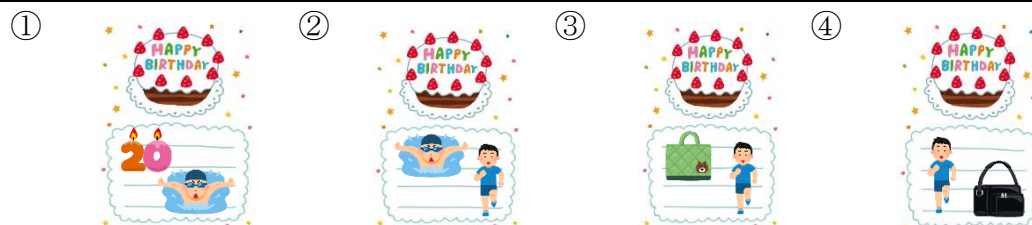
- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について
- ・具体的な情報を聞き取る
- ・短い話の概要を捉えることができる

→目的・場面・状況に応じて聞き取った情報を整理し、取捨選択し、表現する活動などが考えられる。

(評価規準例) 友だちが気に入るようなバースデーカードを作るために、短いスピーチを聞いて具体的な情報を聞き取っている。

問：スピーチを聞いて、ケンタが気に入るようなバースデーカードを選びましょう。

(音声) Hello. My name is Kenta. My birthday is on February 20th. I like running, but I don't like swimming. I like green. Do you like green? I want a green bag for my birthday. Thank you.



読んでみよう！

資料(p.45) 「[「聞くこと」「話すこと \[やり取り\]」における評価【事例1】](#)」

解説(p.101) 「[\(3\)言語活動及び言語の働きに関する事項 ア 聞くこと](#)」

文法事項と文構造

考えてみよう！

・小学校外国語教育においては「文法」をどのように扱えばよいのだろうか？

【解答例】

キーワード



○知識・技能 ○学習指導要領 ○言語活動

小学校外国語教育における文及び文構造の指導について

文法の用語や用法の指導を行うのではない。



I like dog.



複数形の s や不定冠詞の a は中学校で指導する「文法事項」だから評価はしない。違いに気付けるような指導をしよう。

(例) You like dogs. I like dogs, too.



これは「動名詞」と言って…。過去形の時、こう変形するよ。



文構造の指導について

①日本語と英語の語順の違い



Sakura chases Taku.

サクラがタクを追いかける。



Taku chases Sakura.

タクがサクラを追いかける。

②言語活動の中で基本的な表現として繰り返し触れることを通して、

③どのように組み合わせれば自分の伝えたいことが表現できるかを気づかせる。



I enjoyed fishing.

I saw the blue sea.



あの表現とこの表現を組み合わせれば、夏休みの思い出を伝えられるかも！



読んでみよう！

解説(p.81) 「[1 目標](#) (5) 書くこと」

解説(p.91) 「[2 内容](#) エ 文及び文構造」

資料(p.57) 「[事例 1 事後指導](#)」

外 Q&A(p.2) 「[\(小学校\) 問 4 小学校外国語科では文法指導は行わない](#)」

「話すこと」における評価時期

考えてみよう！

- ・小学校外国語教育において、「話すこと」の評価時期について、どのようなことに気をつければ良いのだろう。 [【解答例】](#)

キーワード



- | | | | | |
|-------|----------|----------|-------|-------|
| ○評価方法 | ○記録に残す評価 | ○記録に残す評価 | ○評価時期 | ○話すこと |
| ○信頼性 | ○学習評価の質 | | | |

「話すこと」ができるようになるには時間がかかる

個人差が大きいことも予想される

単元のはじめに「話すこと [発表]」や「話すこと [やり取り]」の評価を行うのは適切でない。

→ある程度の長いスパンで指導と評価を行うことが望ましい。

ただし、以下のような注意点がある。



「話すこと [発表]」の評価場面を単元の第6、7、8時に入れよう。

単元の終末に評価場면을設けることには問題はないが…

記録に残す評価を行うタイミングによって、

・**評価時期が異なることで個別の状況に差が出る**

・**児童全員を見取ることが難しい** などが考えられる。

→授業中の見取りや**学期末のパフォーマンステスト**を行い、記録に残す評価をする。

読んでみよう！

資料(p.58) [「話すこと \[発表\]」における評価【事例2】](#)

資料(p.84) [「本単元における「話すこと \[発表\]」における評価の総括【事例4】](#)

小学校外国語教育における語彙

考えてみよう！



- ・小学校外国語教育において「語彙」を指導と評価をする場合、気をつけるべきことは何だろうか？ [【解答例】](#)



キーワード

○学習指導要領 ○知識・技能 ○聞くこと ○話すこと ○妥当性

外国語科で指導する語は、外国語活動を履修する際に扱った語を含む 600~700 語である。これは受容語彙と発信語彙の両方を含めた語彙サイズである。

受容語彙(受容するもの)	発信語彙(発信するもの)
「聞いたり、読んだりすることを通して、意味が理解できるように指導すべき語彙」 	「聞いたり、読んだりすることを通して、意味が理解できるように指導すべき語彙」 

例：5年生で誕生日や好きなものを交えながら自己紹介をする単元



Mayという言葉は、5月生まれの児童にとっては発信語彙であるが、他の月生まれの児童にとっては受容語彙である点について留意しながら指導する必要がある。

※ただし、小学校段階では、初めて外国語に触れるため、「聞くこと」、「話すこと」と「読むこと」、「書くこと」とでは求めるレベルが違う。

→聞いて意味を理解できるようにする語彙と、話して表現できるようにする語彙を中心に指導する。

読んでみよう！

解説(p.89)「[ウ語、連語及び慣用表現](#)」

小学校外国語教育における言語材料

考えてみよう！

- ・小学校外国語教育において「言語材料」を指導と評価をする場合、気をつけるべきことは何だろう？ [【解答例】](#)

キーワード



○学習指導要領 ○知識・技能 ○話すこと ○聞くこと

「話すこと [発表]」や「話すこと [やり取り]」における言語材料の取り扱い

×指導する単元で扱う言語材料が**提示された状況**で、それらを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり話したりする技能を身に付けている状況か否かを評価する。

○使用する言語材料の**提示がない状況において**、それらを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり話したりする技能を身に付けている状況か否かについて評価する。

→記録に残す評価をする際には、**実際のコミュニケーションの場面を設定しつつ、使用する言語材料を明示せず、特定の言語材料の使用(文の生成)を求める。**



「聞くこと」における言語材料の取り扱い

「思考・判断・表現」を評価する問題には、当該学期で扱った特定の言語材料を必ず使用しなければならないわけではない。

一方で、「知識・技能」の問題では特定の言語材料を必ず使用して作成する。

読んでみよう！

中資料(p.67)「[5 ペーパーテストの作成に当たって](#)」

中資料(p.71)「[特定の言語材料に焦点を当てた「知識・技能」の評価【事例4】](#)」

知識・技能に関するペーパーテストは どのように作成すればいいのですか？

テストの題材

「英語教員のためのポータルサイト えいごネット」を使用することができる。

https://www.eigo-net.jp/easy_readings/easy_readings-1215

しかし、児童にとっては難易度が高いため積極的に使用することは難しい。

『We Can!』の音声を再利用し、学習評価の質を考慮しながらペーパーテストを作成することは可能である。

ただし、児童の言語の習得に関しては個人差（能力、環境、生活経験など）がある。

ペーパーテストを、優劣をつけるためだけのものにならないように注意する必要がある。

「知識・技能を評価するためには、ペーパーテストをするしかない！」と早合点することなく、児童の実態に合わせた[評価方法](#)を選択することが望ましい。

読んでみよう！

直山木綿子（編）(2021). 『小学校外国語教育の指導と評価』 文溪堂

根岸雅史（2017）. 『テストが導く英語教育改革「無責任なテスト」への処方箋』 三省堂
中資料(p.58) 「[ペーパーテストの作成方法](#)」



「話すこと」における「十分満足できる」状況

考えてみよう！

- ・小学校外国語教育における「話すこと」の「十分満足できる」状況 (a) とは具体的にどのような姿なのだろうか？ [【解答例】](#)

キーワード



○評価規準 ○話すこと [発表] ○話すこと [やり取り] ○ルーブリック

具体的な姿として以下のようなものが想定されている



I like *kashiwa-mochi*.
(うまく伝わらないなあ)

Japanese dessert!



あらかじめ決めていたことだけではなく、自分自身で修正しながら相手に話している。



(好きなものを伝えるために順番を工夫している)
I like cats. I have a brown cat. She is cute.

話す順番を工夫しながら発表をしている



Do you like jogging?

相手に問いかけしながら話している

Many flowers,
beautiful. Nice park.



情報を加えながら話している

以上のものを組み合わせて、「十分満足できる」状況 (a) の質的特徴をまとめることができる。

例：自分の住んでいる街のおすすめの場所を聞き手に伝えるように、情報を付け加えたり、相手に問いかけたりしながら話している。

読んでみよう！

資料(p.16) 「[4-2 「話すこと \[発表\]」 \(思考・判断・表現\) \(主体的に学習に取り組む態度\) の評価例](#)」

資料(p.68) 「[4-1 「話すこと \[発表\]」 \(知識・技能\) \(思考・判断・表現\) の評価例](#)」

「読むこと」の評価

考えてみよう！

・小学校外国語教育における「読むこと」の指導と評価をどのように行えば良いのだろうか？

【解答例】

キーワード



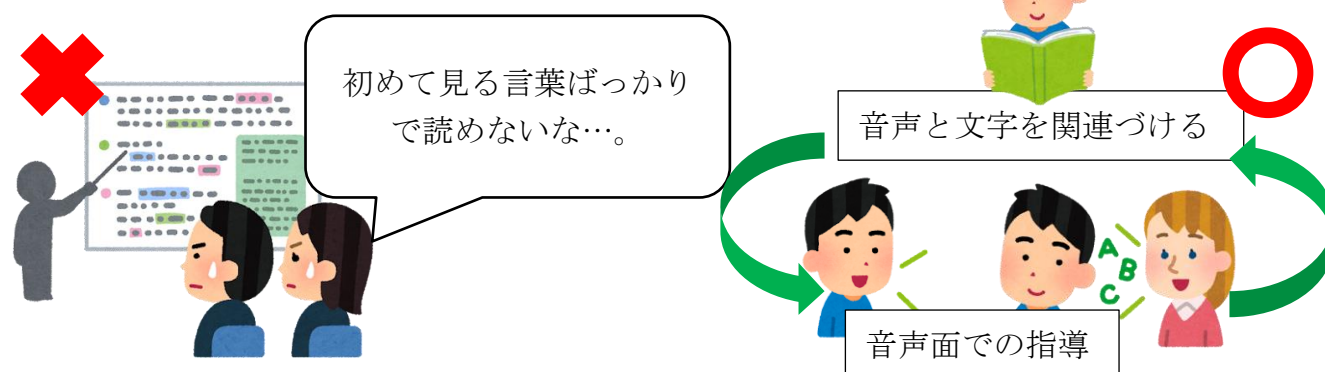
○評価方法 ○読むこと ○書くこと ○信頼性 ○妥当性

外国語嫌いにならないようにするため、教科として評価する際、外国語を読んだり、書いたりすることなどを通して、**言葉の仕組みの面白さ**などに気付きながら活用しようとする態度をより適切に評価できるようにすることが重要である。 答申(p.88)より

「推測しながら読む」ことにつなげる

音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現について、音声と文字とを関連付けて指導すること

→初見の表現や語彙を読む活動を意味しているのではない。



評価方法例①

作成したオリジナルミニポスターを互いに読み合い、分かったことをワークシートに書く。
※児童同士が互いの作品を見合うため、文字に間違いがあったり鮮明でなかったりすることも想定され、個人により条件が異なる可能性がある。

→[学習評価の質](#)の点において疑問が残る。

評価方法例②

単元や学期の終わりに、同一条件下でペーパーテストを実施することが考えられる。その結果とともに、本単元の中で記録した評価を加味して、記録に残す評価する。

※授業において**音声で十分に慣れ親しんだ**簡単な語句や基本的な表現を扱うこと。

読んでみよう！

解説(p.103)「[イ 読むこと](#)」

答申(p.88)「[小学校の外国語教育における改善・充実](#)」

資料(p.87)「[読むこと ワークシート、チャレンジクイズの例【事例4】](#)」

「書くこと」の評価

考えてみよう！

・小学校外国語教育における「書くこと」の指導と評価をどのように行えば良いのだろうか？

【解答例】

キーワード



○評価方法 ○読むこと ○書くこと ○学習改善 ○聞くこと

「書くこと」の指導と評価の留意点

個人差が大きく出やすい領域



一層の丁寧な指導が求められる



英語学習に対する自信をもたせるきっかけになり得る



書いたものは残る



自身の成長を認識させやすい

「書くこと」の指導と評価の順序

- ① 「聞くこと」の活動により文字の読み方について十分慣れ親しませる。
- ② 文字を識別したり発音したりする読む活動を行う。
- ③ 児童の学習意欲を高めるために、書く目的をもたせたり、ゲーム的要素を取り入れたりする。ドリル学習のような単調な繰り返しにならないようにする。
- ④ 「書くこと」の活動は教員が想像する以上に時間がかかる場合がある。十分な時間を設定する。児童の実態に応じて一度に取り扱う文字の数や種類に配慮する。
- ⑤ 年間を通じて、全ての「書くこと」の活動において、文字を書くことができているか、できるようになってきているかを丁寧に見届け、指導に生かす。

読んでみよう！

解説(p.110)「オ 書くこと」

答申(p.88)「小学校の外国語教育における改善・充実」

資料(p.87)「読むこと ワークシート、チャレンジクイズの例【事例4】」

「書くこと」における「十分満足できる」状況

考えてみよう！

- ・小学校外国語教育における「書くこと」の「十分満足できる」状況 (a) とは具体的にどのような姿なのだろうか？ [【解答例】](#)

キーワード



○書くこと ○評価規準 ○評価方法 ○知識・技能 ○思考・判断・表現

「知識・技能」、「思考・判断・表現」において、「十分満足できる」状況の**絶対条件**

文字と文字、語と語の間隔に適切なスペース

※語と語の間隔に適切なスペースは、「小文字の a もしくは n が 2 つ分」程度と指導することができる。

「知識・技能」における「十分満足できる」状況

「十分満足できる」状況…語句や表現を全て正しく書いている。

「おおむね満足できる」状況…一部正しく書けていない。

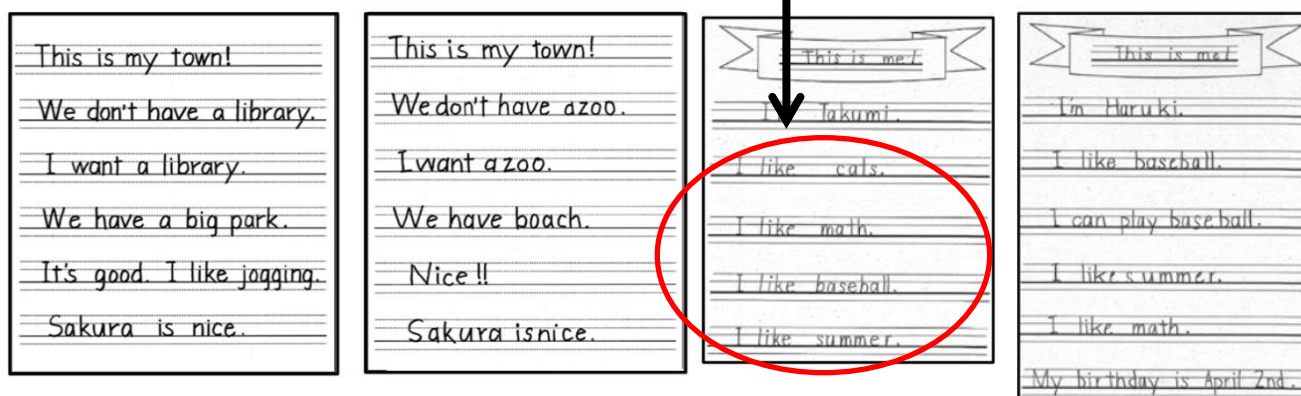
「思考・判断・表現」において、「十分満足できる」状況

例：自分たちの住む地域について、相手に伝わるように紹介文を書く活動

そのよさや願いなど、自分の考えや気持ちを、**単元で学習した語や巻末の WORDLIST を調べて語を選んでいる。見本を書き換え、まとまりのある文となるよう文の順も入れ替えている。**

例：読み手によりよく自分のことを分かってもらうために自己紹介文を書く活動

「おおむね満足できる」状況…記載した内容に**偏り**がある。



「十分満足できる」状況と判断した児童の作品については、よい例としてクラスで共有する。

読んでみよう！

資料(p.69) [「4-4 「書くこと」\(「知識・技能」「思考・判断・表現」\) の評価例【事例3】](#)

資料(p.84) [「4-4 「書くこと」\(「知識・技能」「思考・判断・表現」\) の評価例【事例4】](#)

文字への指導と評価する時間が 他の技能に比べて少ないです

「書くこと」や「読むこと」の評価でも述べたように、日頃の積み重ねが大切となる領域です。

手島(2019)では、文字指導の CAN-DO リストを以下のように挙げています。

- | |
|------------------------|
| 0-1. 文字の形が分かる |
| 0-2. 文字の名前が分かる |
| 1-1. 文字が読める |
| 1-2. 文字が書ける |
| 2-1. 語が読める |
| 2-2. 語が書ける |
| 3. 文(sentence)が書ける |
| 4. 文章(passage)が書ける |
| 補足. キーボードを使って文字を入力ができる |

小学校では、第3学年の国語科でローマ字を学習します。

そのため、教員の意識の中で「アルファベットも書けるだろう」という思い込みが存在しているのかもしれませんが。

アルファベットは多くの児童にとっては、外国の文字です。「大文字と小文字、合わせて52文字ぐらい…」と思わず、年間の指導計画を作成する際に、書くことや読むことの指導と評価をする場面を意識的に取り入れましょう。

読んでみよう！

手島 良 (2019). 『これからの英語の文字指導—書きやすく読みやすく』 研究社



小学校外国語教育と主体的に学習に取り組む態度①

考えてみよう！

・「主体的に学習に取り組む態度」を評価する際に気をつけることは何だろう。

【解答例】

キーワード

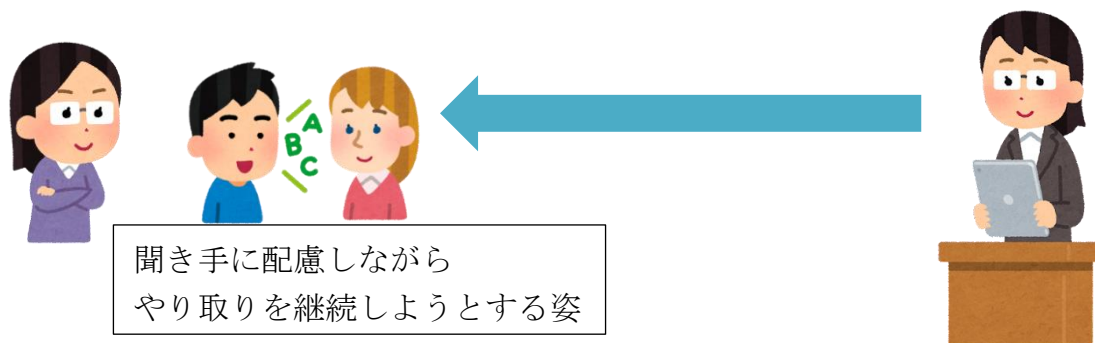


○思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度 ○評価規準 ○評価方法
○言語活動

目的や場面、状況などに応じたコミュニケーションを図ろうとするためには、

- ①「外国語の背景にある文化に対する理解」や、
- ②「聞き手、読み手、話し手、書き手への配慮」が必要である。

授業中の言語活動やパフォーマンステスト等で**実際に見取ることができる規準**となるよう、「思考・判断・表現」と対の形にしている
→基本的には一体的に評価することができる。



※ただし、児童の特性や学習段階により、主体的に学習に取り組む態度が必ずしもコミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じた発話や筆記等に表れない場合もある。

そのような段階にある生徒の「主体的に学習に取り組む態度」の評価結果は、「思考・判断・表現」の評価結果と一致しない場合もある（中資料【事例1】参照）。

「思考・判断・表現」と基本的には一体的に評価しつつ、「言語活動」への取組状況を観察しその結果を加味するということであり、児童の態度を見取することは重要である。

読んでみよう！

中資料(p.47) 「複数単元を通じた「話すこと【やり取り】における各観点の一带的な評価【事例1】」
中資料(p.79) 「「主体的に学習に取り組む態度」の評価【事例5】」

小学校外国語教育と主体的に学習に取り組む態度②

考えてみよう！

・「主体的に学習に取り組む態度」を評価する適切な時期はいつだろうか。

【解答例】

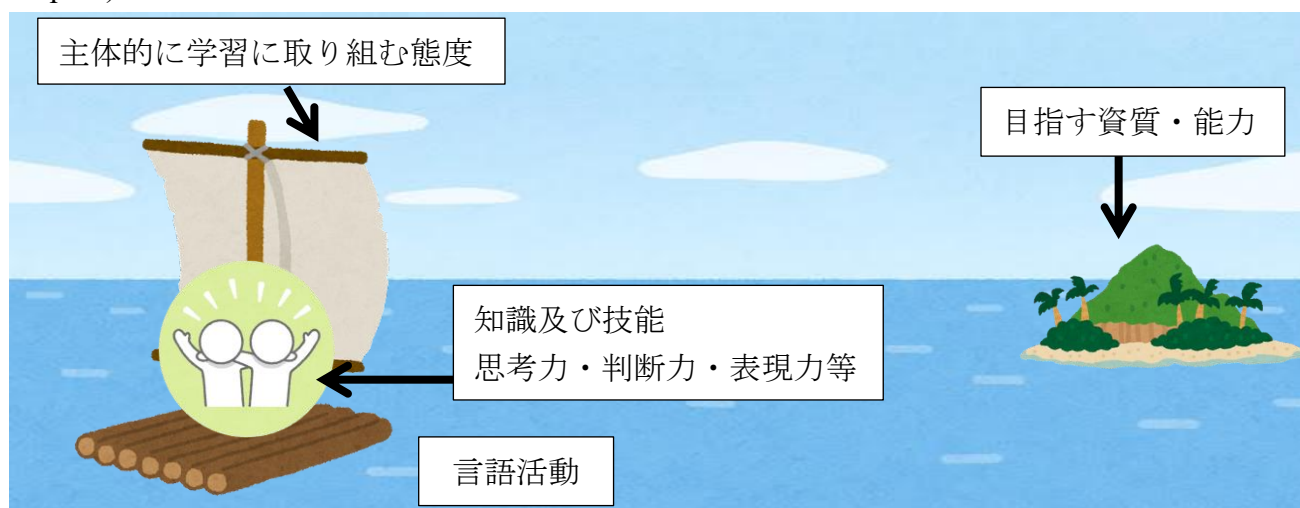
キーワード



○主体的に学習に取り組む態度 ○パフォーマンス評価 ○言語活動 ○評価方法

「学びに向う力、人間性等」は、「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」と同様、**時間をかけて**育まれるものである。

「主体的に学習に取り組む態度」は、**言語活動に取り組む中で**、「知識及び技能」並びに「思考力、判断力、表現力等」の資質・能力を**一体的に育成する過程を通して**育成される（中資料 p.80）



「主体的に学習に取り組む態度」を評価する時期は、**単元終末や学期末等で行うパフォーマンステスト等が基本となる。**

「主体的に学習に取り組む態度」が育まれたと評価することが**適切ではない例**



単元の1時間目に、単元末のゴールを示すと、
学習意欲が高まった！
「主体的に学習に取り組む態度」も育まれた！！



読んでみよう！

中資料(p.80) 「主体的に学習に取り組む態度」の評価【事例5】

小学校外国語教育と主体的に学習に取り組む態度③

考えてみよう！

・「主体的に学習に取り組む態度」を評価する際に、振り返りの記述をどのように扱えば良いのだろうか。 [【解答例】](#)



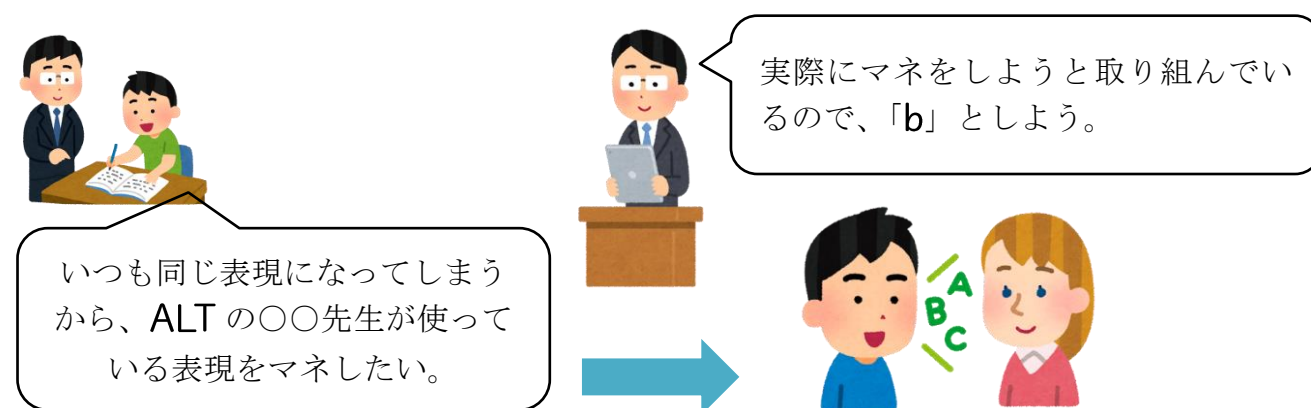
キーワード

○評価方法 ○記録に残す評価 ○主体的に学習に取り組む態度 ○ワークシート
○記録に残す評価 ○言語活動 ○振り返り

[振り返り](#)の記述と主体的に学習に取り組む態度

学期末等の総括の段階で、「b」と「c」のどちらもあり得る場合に限り、

→振り返りで記述している内容が、授業における言語活動への取組の様子に
いくらかでも実際に表れていれば、「c」ではなく「b」と総括することも考えられる。



何を意識すれば言語活動に取り組むことができるようになるか理解している

実際に態度に表出されていることが重要

言語活動に粘り強く取り組むことができている(「a」または「b」)場合

→振り返りの記述内容によって評価を変えることはしない。

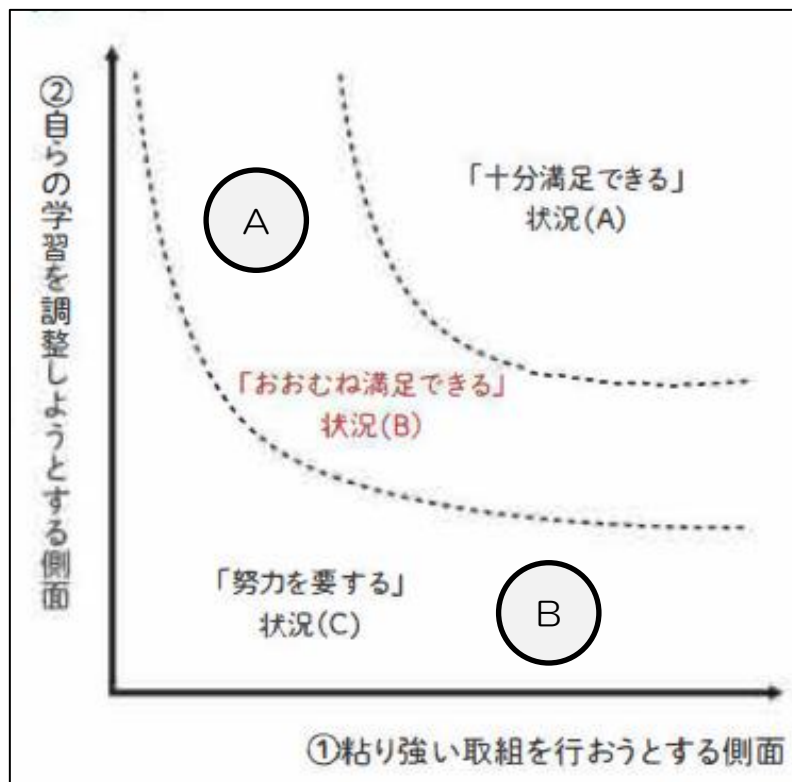
記録に残す評価	
「a」または「b」	振り返りの記述内容によって評価を変えることはしない。
「b」と「c」 どちらも有り得る 場合	振り返りで記述している内容が、授業における言語活動への取組の様子にいくらかでも実際に表れていれば、「c」ではなく「b」と総括することも考えられる。

読んでみよう！

中資料(p.81)「[3 観点別学習状況の評価の進め方【事例5】](#)」

中資料(p.81)「[4 「自己調整」を図ることができるようにするための指導【事例5】](#)」

何ができていたら自己調整なのでしょうか？



『学習評価の在り方ハンドブック』より

例：赤字が自己調整の部分



Aの状態…それほど粘り強い取組を行おうとする姿は見られない。

友だちやALTの表現をマネし、積極的に使い、自分の表現を改善しようとしている。

Bの状態…粘り強い取組を行おうとする姿が見られる。

しかし、友だちやALTとのやり取りから学び、自分の表現に活かそうとする姿が見られない。

読んでみよう！

加藤拓由 (2020). 「英語の評価ってどうすればいいの？」『英語教育』, 69(1), 50–51.

大島純・千代西尾祐司 (2019). 『主体的・対話的で深い学びに導く学習科学ガイドブック』
北大路書房

小学校外国語教育における記録に残す評価

考えてみよう！

・小学校外国語教育における記録に残す評価はどのように行えば良いのだろうか。

【解答例】

キーワード



○評価規準 ○評価方法 ○記録に残す評価 ○評価時期 ○評価場面の精選

例 「話すこと [発表]」の知識、技能を行動観察やパフォーマンス課題で評価する場合
(資料 p.64 事例 2 より)

評価時期【評価規準】	児童①	児童②
第4時【あることができるかどうかについて尋ねたり答えたりしている。】	c	b
第6時【友達について、He/She can~. He/She can't~. などの表現を用いて、できることやできないことを話している。】	c	b
第8時【友達について、He/She can~. He/She can't~. などの表現を用いて、できることやできないことを話している。】	b	-
評価の総括	B	B

児童が話している様子の観察から、評価の記録を残す。

本単元の記録は、後日行う パフォーマンス評価 に加味する。

児童①の評価の総括が「B」となった理由

本事例では、評価の総括を「B」とした。第4時の活動よりも第8時の活動では、

使用する言語材料が増えている中、第4時の目標である、できることについて話している姿が見られたことから、評価の総括が「B」とすることもできる。

児童②の第6時が「-」の理由 解説 (p.110) より

児童生徒の学びの過程全体を通じて、知識・技能が、実際のコミュニケーションにおいて活用され、思考・判断・表現することを **繰り返す** ことを通じて獲得され、学習内容の理解が深まるなど、資質・能力が相互に関係し合いながら育成されることが必要である。

→ **一度できる(使える)ようになったことは、できなく(使えなく)なる可能性は低い。**

→ 第8時は、第6時でcと評価された児童を評価する。

評価場面を精選することで評価の負担を減らすこともできる。

読んでみよう！

資料(p.64) 「4-3 本單元における「話すこと [発表]」における評価の総括【事例2】」

資料(p.81) 「「話すこと [発表]」の記録残す評価【事例4】」

資料(p.84) 「4-3 本單元における「話すこと [発表]」における評価の総括【事例4】」

解説(p.110) 「(3)言語活動及び言語の働きに関する事項」

評定への説明責任のプレッシャーを感じてしまいます

説明責任のプレッシャーから…

こんな評定の付け方をしていませんか？

- ・点数をつけると保護者も納得するから、何となく 100 点満点のテストをする (つくる)。
- ・差をつけるために、テストをいっぱいする。
- ・授業中に評定のための「証拠探し」をする。

果たして、このような学習評価の在り方は正しいのでしょうか？

どのような評価方針をとるのか、校内の教職員間はもちろん、児童や保護者と共有することが大切です。

地域の実態に応じて、3 観点の趣旨や評価の方針について保護者にも理解してもらえるような説明が必要です。

児童に対しては、パフォーマンス課題を中心として「何が良くて、何が悪いのか」を理解させるために評価のポイントを明確にさせましょう。ルーブリックを共有するだけでなく、授業中においても児童の発表や教員の発話を評価する機会を設けることで、児童も自身がどのレベルに属しているかが分かるようになってきます。

読んでみよう！

ギブス,C.V. (著) 鈴木秀幸 (訳) (2001). 『新しい評価を求めて-テスト教育の終焉』 論創
石井英真 (2020). 『授業作りの深め方—「よい授業」をデザインするための5つのツボ』 ミ
ネルヴァ書房

松下佳代 (2007). 『パフォーマンス評価—子どもの思考と表現を評価する』 日本標準

田中容子・西岡加名恵 (2021). 『生徒が主人公になる高校英語の授業』 日本標準



小学校外国語教育における評価方法

考えてみよう！

・小学校外国語教育における評価方法にはどのようなものがあり、それぞれの注意点は何だろうか？ [【解答例】](#)

キーワード

○評価方法 ○指導に生かす評価

- ・誤答の中に正答になりうるものがないか。
- ・1つの問題が他の問題の答えを示していないか。

評価方法	メリット	注意点
ペーパーテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・評価したいことに応じてテストを作成し、一度に大勢を評価することができる。 →指導に生かす評価に適している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が実際に解くことで、問題の 適切さを確認する必要がある。 ・記述式の問題を作成した場合は、採点基準も作成する。
行動観察	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の外国語を使って表現する場面を評価することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一度に多くの児童を評価することはできない。振り返りシートやワークシートとともに評価することが望ましい。
パフォーマンス評価	<ul style="list-style-type: none"> ・育成を目指す資質や能力に応じた課題を設定することができる。 ・児童の資質や能力を質的に評価することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人を評価するには、時間がかかる。 ・評価者によって評価の差が出ないように、ルーブリックを工夫したり、評価者間での打ち合わせをしたりする必要がある。
ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの記述を分析することによって、指導改善につなげることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記述の分析に時間がかかる。 ・何を記述（生成）させるかを検討する必要がある。
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察だけでは表出しない内省の部分を、記述を分析することで評価することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記述の分析に時間がかかる。 ・本時のねらいに即して児童を評価する。
ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の「過程」を評価することができる。 ・作成を促すことで、学習者が自分の学びを振り返ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオの目的（学習改善や指導改善）を明確にし、教員や児童と共有することが必要である。

読んでみよう！

中資料(p.58)「[ペーパーテストの作成方法](#)」

ガイドブック(p.95)「[3 指導案の作成](#)」



性格的に話すことが苦手な児童がいます

できることを増やしていく必要があります。

コモス, J.・スミス, A. M.・竹田契一・飯島睦美・大谷みどり・川合紀宗 (2017) では、初歩レベルの語学学習者の会話パフォーマンス評価チェックリストのサンプルを作成しています。

普段の授業では、児童の「できない」ところが気になってしまいがちですが、その児童が「何ができる」かを理解し、教員はどんな支援ができるかを考えることが求められます。

また、個人内評価を重視し、変化や成長を見取れるような評価を行うことも重要です。そのためにも、[ポートフォリオ](#)等の学びの足跡が残り学習者が自らの学びを自覚できるような工夫が大切です。

人前で話すことが苦手な児童がいる場合は、タブレットのボイスレコーダー等を利用し、本人が安心して話せる環境の中で活動させる配慮も必要です。

ボイスレコーダー等を使用した場合、児童のパフォーマンスが記録に残るため、指導改善や説明責任の役割を果たすことができます。

読んでみよう！

コモス, J.・スミス, A. M. (著)・竹田契一(監修)・飯島睦美・大谷みどり・川合紀宗 (訳) (2017). 『学習障がいのある児童・生徒のための外国語教育—その基本概念, 指導方法, アセスメント, 関連機関との連携』明石書店



小学校外国語教育における評価規準

考えてみよう！

- ・小学校外国語教育における評価規準は、どのように作成すれば良いのだろうか。

【解答例】

キーワード



○評価規準 ○言語材料

言語の特徴や決まりに関する事項（[言語材料](#)）

当該単元を中心となる言語活動において設定するコミュニケーションを行う目的や場面、状況、取り扱う話題などに即して設定する。

【「話すこと [やり取り]」の評価規準の設定例】 [資料](#) (p.42) より

評価規準 (設定例)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<p><知識></p> <p>身の回りの物を表す語や、I like / want / have ～. Do you ～? What do you ～? の表現について理解している。</p> <p><技能></p> <p>自分や相手のことについて、身の回りの物を表す語や、I like / want / have ～. Do you ～? What do you ～? 等を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>新しくやってきたALTのことを理解したり自分のことを伝えたりするために、自分や相手のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合っている。</p>	<p>新しくやってきたALTのことを理解したり自分のことを伝えたりするために、自分や相手のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。</p>

言語材料 事柄・話題 目的等 内容

「資料」に記ししている単元の目標や評価規準は、あくまで例示であり、より重点化したり、より端的に記載したりすることも考えられる。

目標に照らして観点別の評価を行う上で必要な要素が盛り込まれていれば、語順や記載の仕方等は必ずしもこの例示の通りである必要はない。

読んでみよう！

資料(p.38) 「[2 単元の評価規準の作成のポイント](#)」

外国語活動における学習評価

考えてみよう！

- ・外国語活動における指導と評価をどのように行えば良いのだろうか？ [【解答例】](#)



キーワード

- 外国語活動
- 評価方法
- 記録に残す評価
- 記録に残す評価
- 評価規準
- 学習改善

外国語活動の評価方法は、行動観察が中心となる。

ポイント① 活動の途中でいったん止める



友だちに伝わるように色や形だけではなく、数も聞いていたね！



- ・よい例を指導者が紹介したり助言したりする
- ・学級全体で共有し、後半の活動や次時への学習改善に生かすようにする。
→それぞれの観点において十分ではない状況が見られた場合は、活動をいったん止めて、観点到応じて、**練習的な活動を組み込んだり、助言や指導を行ったり**して学習改善につなげる。

ポイント② 評価規準に沿って、児童名簿等にチェックやメモを残す

- ・特徴的なことはメモをとったりしておく。
→1単元で必ずしも全児童について記録に残す必要はなく、1年間を通して全児童について各観点で各領域においてバランスよく記録に残すことが大切である。

名前／観点	10/4 話す [やり取り] 思：学級の友達に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形など、身の回りの物について、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。	11/18 聞く 知：文房具など、学校で使う物や持ち物についての話を聞いて意味が分かっている。
天野 太郎		✓
井上 浩介	✓	✓

ポイント③ 記録を蓄積する

各児童についての記録を基に、指導要録に文章で児童の様子を記載する。

読んでみよう！

資料(p.91) 「[4 「話すこと \[やり取り\]」 の評価例【事例5】](#)」

資料(p.95) 「[4 「話すこと \[やり取り\]」 の評価例【事例6】](#)」

評価における「正確さ」と「適切さ」

考えてみよう！

- ・小学校外国語教育の評価における「正確さ」と「適切さ」をどのように扱えば良いのだろうか？ [【解答例】](#)

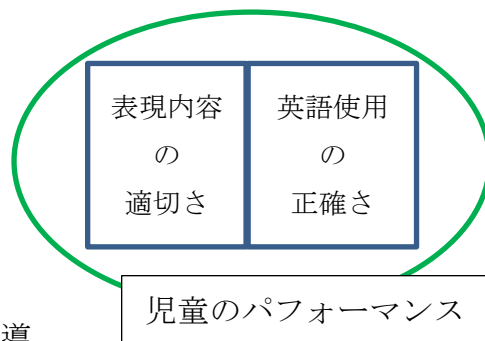


キーワード

- パフォーマンス評価 ○評価規準 ○評価方法 ○知識・技能
- 思考・判断・表現

例：学期末に実施する「話すこと [やり取り]」の[パフォーマンス課題](#)に向けて

- ・表現内容の**適切さ**という点(内容面)→**思考・判断・表現**
 - ・英語使用の**正確さ**という点(言語面)→**知識・技能**
- の二点からの指導を、複数単元を通して行う。

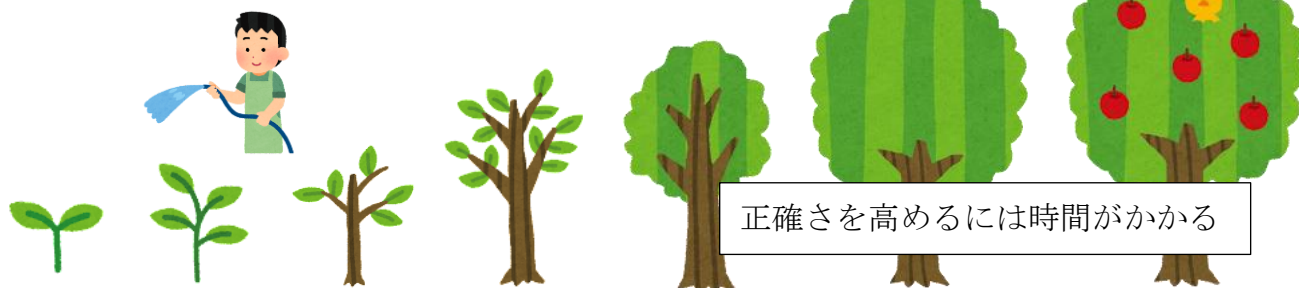


誤りの訂正

- ・児童の発話内容をまずは受け止める。
- ・過度に正確さを求めすぎない
- ・**長いスパンで少しずつ**正確さを高めようとする指導観と指導



言語活動に取り組んでいる児童の発話に耳を傾ける時の注意点
△漠然とその様子を見聞きする
○発話の何を聞き取るか、**その視点を明確にもつ**



児童の実態や指導の状況を踏まえ指導することの**焦点化**

→**意図的な机間指導**が必須である。

前時では A さんに週末に食べたものを伝える表現を意図的に指導したな…。今日は、A さんの学習状況を素早く確認をして、B さんと C さんの言語使用について指導しよう。



読んでみよう！

中資料 (p.54) 「[7 指導について \(1\) パフォーマンステストに至るまでの指導](#)」

短時間で「正確さ」を見取ることが難しいです

「短時間」という点については、コラム「[たくさんの人数をどのように評価すればいいのですか？](#)」をご参照ください。

ただ、「正確さ」を評価する際には注意が必要です。

「指導と評価の一体化」という点から、「正確さ」の指導したことについて評価しなければいけません。

「正確さ」の指導については、以下の留意点があります。

- ・「正確さ」を高めるには時間がかかります。
→過度に「正確さ」を求めすぎないことは指導において大切です。
長い期間で評価することも考えられます。
- ・**初期段階から使っていく中で徐々に「正確さ」を高めていく必要があります。**
→△「聞く活動も十分に行ったし、そろそろ使って表現してみようかな？」
- ・「適切さ」ばかりに指導の重きが置かれ、「**正確さ**」が疎かにならないか気をつける必要があります。
→「伝われば何でも OK!」ではなく、受け取り手の負担（曖昧な表現で認知的負荷をかける、受け取り手の推測力に頼るなど）を考慮する指導を行いましょう。

読んでみよう！

奥住 桂 (2021). 「「正確さ」の指導って必要？」『英語教育』, 70(8), 49

山田誠志 (2020a). 「中学校外国語科における学習指導と学習評価の工夫改善」『中等教育資料』, 1011, 36-41.

山田誠志 (2020b). 「目標と指導と評価の一体化-指導の観点・評価規準」『英語教育』, 68(13), 10-13.



外国語教育における振り返りシートの役割

考えてみよう！

- ・どんな振り返りシートを使い、どのように振り返りを行えば良いのだろうか？

【解答例】

キーワード



- 振り返りシート
- 主体的に学習に取り組む態度
- 評価方法
- 評価場面の精選

振り返りシートの留意点

- ・評価場面における児童の姿に加え、[振り返りシートの記述を組み合わせ](#)て、「主体的に学習に取り組む態度」について評価することができる。
- ・振り返りの視点を与える（例：「めあて」の達成度について尋ね、その理由を書かせる）
→**本時のねらいに照らして児童を評価する。**
- ・**評価場面での児童の姿を補う**
→まずは、評価場面での児童の姿を評価する。
→振り返りカードに記載された**児童の気付きを分析**し、評価記録の対象とする。
→**行動観察だけでは表出しない内省の部分**は、児童の記述を分析し評価する。



ALT と上手く話せていなかったけど、何が原因なのだろう？



振り返りが困難な児童生徒には…



- ・対話する
- ・できていることを伝える
- ・質問する
(何ができた、何ができなかった、その理由について)
→振り返りの視点や文章の構成について助言する

読んでみよう！

中資料(p.82)「[\(参考\) 振り返りの書かせ方](#)」

ガイドブック(p.62)「[4 評価を工夫しよう！\(1\)振り返りカード](#)」

考えてみよう！解答例 ～学習評価全般～

学習評価と現状の課題

- Q. 学習評価は何のために行うのでしょうか？
A. 児童生徒の学習改善や教員の指導改善のため。

学習評価の在り方

- Q. 学習評価は何を評価するのでしょうか？
A. 児童生徒の学習状況（どういった力が身に付いたか）を評価する。

目標に準拠した評価

- Q. 目標に準拠した評価とは何だろう？
A. 主要な目標を達成できているかどうかを評価するもの。

学習評価の質（信頼性と妥当性①）

- Q. 学習評価の質を高めるために、「信頼性」と「妥当性」をなぜ大切にしないといけないの
だろう？
A. 児童生徒の学習状況を正しく評価するため。

信頼性と妥当性②

- Q. 学習評価の質である信頼性や妥当性を向上させるにはどうしたらいいのだろう？
A. 評価規準や評価方法を事前に検討し明確化する。その実践事例を蓄積し、共有する。

評価方法

- Q. 評価方法で気をつけるべきことは何だろう？
A. 多様な評価方法から、その場面における児童の学習状況を的確に評価できる方法を選択
すること。

記録に残す評価と指導に生かす評価

- Q. 記録に残す評価と指導に生かす評価とは何だろう？
A. 記録に残す評価…「記録に残す評価」を集めて、ある一定期間の学習状況を評価するも
の。
指導に生かす評価…児童生徒一人一人の学習状況について成果や課題を明らかにし、そ
れに基づいて指導するためのもの。

評価規準

Q. 評価規準とは何だろう？

A. 児童生徒が自ら獲得し、身に付けた資質や能力の具体的な姿を文章表記したもの。

評価基準と評価規準

Q. 評価基準と評価規準の違いは何だろう？

A. 評価基準…規準で示された力の習得状況の程度を明示するための指標。

評価規準…児童生徒が自ら獲得し、身に付けた資質や能力の具体的な姿を文章表記したもの。

観点別学習状況評価

Q. 観点別学習状況評価の役割は何だろう？

A. 児童生徒がそれぞれの教科での学習において、どの観点で望ましい学習状況が認められ、どの観点到課題が認められるかを明らかにするもの。

「知識・技能」の評価

Q. 「知識・技能」はどのように評価すれば良いのだろうか？

A. 知識及び技能の習得状況、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価する。

「知識」と「技能」の軽重

Q. 「知識」と「技能」を分けて評価することはできるのだろうか？

A. できる。学習指導要領の記載や実際の指導内容により、指導や評価において知識と技能に軽重をつけることは考えられる。

「思考・判断・表現」の評価

Q. 「思考・判断・表現」はどのように評価すれば良いのだろうか？

A. 児童生徒が思考・判断・表現する場面を効果的に設定した上で、指導・評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価 ①

Q. 「主体的に学習に取り組む態度」は何を評価すれば良いのだろうか？

A. 粘り強い取組と自らの学習を調整しようとする側面を評価する。
個人内評価を通じて見取る部分は観点別学習状況評価の対象外。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価 ②

Q. 「主体的に学習に取り組む態度」を指導や評価する際に気をつけるべきことは何だろう？

A. 特定の型に沿った学習の進め方を一律に指導しない。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価 ③

- Q. 児童の「主体的に学習に取り組む態度」を評価する際に気をつけるべきことは何だろうか？
A. めあてを提示すること。題材や単元を通しての態度や行動の変容をとらえる。

自己調整とメタ認知

- Q. 自己調整とメタ認知とは一体何だろうか？
A. メタ認知…自分の思考や行動を客観的に捉えること。
自己調整…自己の感情や行動を制御すること。

観点別学習状況評価のばらつき

- Q. 単元末や学期末、学年末の結果として観点別学習状況評価に大きなばらつきは生じるだろうか？生じた場合は、何が原因なのだろうか？
A. 一つの資質・能力を色々な角度から見取っているため、大きなばらつきは生じにくい。教員の授業や指導の在り方が原因の一つとして考えられる。

評価と時期

- Q. 必要な指導を行わないまま、一方的に評価することがないように必要な手立ては？
A. 実施状況が把握できる評価時期を定め、逆算をしていく。

評定

- Q. 評定と観点別学習状況評価の違いは何だろうか？
A. 評定

…児童生徒がどの教科の学習に望ましい学習状況が認められ、どの教科の学習に課題が認められるかを明らかにするもの。

観点別学習状況評価

…児童生徒がそれぞれの教科での学習において、どの観点で望ましい学習状況が認められ、どの観点到課題が認められるかを明らかにするもの。

評定と保護者

- Q. 保護者に評定の趣旨を理解してもらうためにはどうしたらいいのだろうか？
A. 学校だよりや学級懇談会などを利用して、評定の趣旨を説明する機会を設ける。

評価と児童生徒

- Q. 児童生徒の学習改善につなげるためには、どのような評価が必要なのだろうか？
A. 評価方針を事前に示す、身に付けるべき力の具体的なイメージをもたせる。

評価と外部試験

Q. 各種試験や検定等の外部試験の評価に関する留意点は何だろう？

A. 入試や各種の試験、検定等は、学習指導要領とは必ずしも目標や評価の視点が同じではない。

評価と教員研修

Q. 教員研修の中で、どのような力を培っていけば良いのだろうか？

A. 日常的に学び合う校内研修の充実

教員一人一人が児童生徒の学習の質を捉えることができる目を培う

パフォーマンス評価

Q. パフォーマンス評価を行うメリットと注意点は何か？

A. 直接観察しにくい資質や能力をできる限り可視化できるようにする。

注意点…育てたい資質や能力を明確にする。

ルーブリック

Q. ルーブリックを用いて評価を行うために、必要なことは何か？

A. 単元の評価規準などをもとに B（できる）から作成する。

ポートフォリオ

Q. ポートフォリオで評価することのメリットは何だろうか？

A. 学習過程を大切にしてほしいというメッセージになる、自己調整を促す。



考えてみよう！解答例 ～小学校外国語教育における学習評価～

外国語教育における評価の課題

- Q. 外国語教育においては、評価における課題はどのようなものがあるのだろうか？
- A. 文法・語彙等の知識がどれだけ身に付いたかという点が重点化され、それだけが評価されてきた

小学校外国語教育における目標

- Q. 外国語活動、高学年の外国語科、中学校の外国語科の目標はどのように違うのだろうか？
- A. 外国語活動...音声中心、外国語科...教科として、高学年はコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す
中学校...簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

外国語教育における言語活動

- Q. 外国語教育においては、どのようなものを言語活動と捉えるのだろうか？
- A. 実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う活動

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方

- Q. 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方とは何だろうか？
- A. 【見方】外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉えること。
【考え方】コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること

小学校外国語教育における評価計画

- Q. 小学校外国語教育における評価計画は作る際に、どのようなことに気をつければ良いのだろうか？
- A. 児童の活動状況に合わせて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないように十分留意する。

小学校外国語教育における知識・技能①

- Q. 小学校外国語教育における知識は、どのようなことを指導し、評価すれば良いのだろうか？
- A. 英語の特徴やきまりに関する事項を指導と評価をする。

小学校外国語教育における知識・技能②

- Q. 小学校外国語教育における技能は、どのようなことを指導し、評価すれば良いのだろうか？
- A. 言語材料と言語活動を効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を指導と評価をする。

小学校外国語教育における思考・判断・表現

- Q. 小学校外国語教育における「思考・判断・表現」をどのように評価すれば良いのだろうか？
- A. 外国語によるコミュニケーションを行う目的や場面、状況を載せたパフォーマンス課題を作る。

小学校外国語教育と「発音」について

- Q. 小学校外国語教育において、「発音」はどのように指導と評価をすれば良いのだろうか？
- A. 「音声」の特徴を捉えて話すことについては、それ自体を観点別評価の規準としない。

「話すこと [やり取り]」の評価

- Q. 小学校外国語教育における「話すこと [やり取り]」の指導と評価をどのようにすれば良いのだろうか？
- A. 「話すこと [やり取り]」の評価については、ペアになる相手によって条件が変わることも考えられる。学期に1回程度のパフォーマンステストにおいて全児童を、条件を一定にそろえて見取することも考えられる。

「聞くこと」の評価

- Q. 小学校外国語教育における「聞くこと」の指導と評価をどのようにすれば良いのだろうか？
- A. 簡単な語句や基本的な表現を聞いて（×英単語だけを聞く）理解した内容とイラストや写真に描かれている非言語情報とを照らし合わせる活動などが考えられる。

文法事項と文構造

- Q. 小学校外国語教育においては「文法」をどのように扱えばよいのだろうか？
- A. 複数形の s や不定冠詞の a 等は中学校で指導する「文法事項」だから評価はしない。違いに気付けるような指導をする。

「話すこと」における評価時期

- Q. 小学校外国語教育において、「話すこと」の評価時期について、どのようなことに気をつけなければならないだろうか？
- A. 単元のはじめに「話すこと [発表]」や「話すこと [やり取り]」の評価を行うのは適切でない。ある程度の長いスパンで指導と評価を行うことが望ましい。

小学校外国語教育における語彙

- Q. 小学校外国語教育において「語彙」を指導と評価をする場合、気をつけるべきことは何だろうか？
- A. 受容語彙と発信語彙があることを意識する。小学校段階では、初めて外国語に触れるため、「聞くこと」、「話すこと」と「読むこと」、「書くこと」とでは求めるレベルが違う。聞いて意味を理解できるようにする語彙と、話して表現できるようにする語彙を中心に指導する。

小学校外国語教育における言語材料

- Q. 小学校外国語教育において「言語材料」を指導と評価をする場合、気をつけるべきことは何だろうか？
- A. 指導する単元で扱う言語材料が提示された状況で、それらを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり話したりする技能を身に付けている状況か否かを評価するのではなく、使用する言語材料の提示がない状況において、それらを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり話したりする技能を身に付けている状況か否かについて評価する。

「話すこと」における「十分満足できる」状況

- Q. 小学校外国語教育における「話すこと」の「十分満足できる」状況（a）とは具体的にどのような姿なのだろうか？
- A. あらかじめ決めていたことだけではなく、自分自身で修正しながら相手に話している
話す順番を工夫しながら発表をしている
相手に問いかけしながら話している、情報を加えながら話している

「読むこと」の評価

- Q. 小学校外国語教育における「読むこと」の指導と評価をどのように行えば良いのだろうか？
- A. 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現について、音声と文字とを関連付けて指導すること

「書くこと」の評価

- Q. 小学校外国語教育における「書くこと」の指導と評価をどのように行えば良いのだろうか？
- A. 「聞くこと」の活動により文字の読み方について十分慣れ親しませる。
「書くこと」の活動は教員が想像する以上に時間がかかる場合がある。十分な時間を設定する。年間を通じて、全ての「書くこと」の活動において、文字を書くことができているか、できるようになってきているかを丁寧に見届け、指導に生かす。

「書くこと」における「十分満足できる」状況

- Q. 小学校外国語教育における「書くこと」の「十分満足できる」状況（a）とは具体的にどのような姿なのだろうか？
- A. 文字と文字、語と語の間隔に適切なスペース
調べている、見本を書き換えている、文の順を入れ替えている

小学校外国語教育における主体的に学習に取り組む態度①

- Q. 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する際に気をつけることは何だろう。
- A. 授業中の言語活動やパフォーマンステスト等で実際に見取ることができる規準にする。

小学校外国語教育における主体的に学習に取り組む態度②

- Q. 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する適切な時期はいつだろうか
- A. 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する時期は、単元終末や学期末等で行うパフォーマンステスト等が基本となる。

小学校外国語教育における主体的に学習に取り組む態度③

- Q. 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する際に、振り返りの記述をどのように扱えば良いのだろうか。
- A. 実際に態度に表出されていることが重要である。補助的に扱う。

小学校外国語教育における記録に残す評価

- Q. 小学校外国語教育における記録に残す評価はどのように行えば良いのだろうか。
- A. 一度できる（使える）ようになったことは、できなく（使えなく）なる可能性は低い。
評価場面を精選することで評価の負担を減らすこともできる。

小学校外国語教育における評価方法

- Q. 小学校外国語教育における評価方法にはどのようなものがあり、それぞれの注意点は何か
- A. [図](#)を参考に

小学校外国語教育における評価規準

- Q. 小学校外国語教育における評価規準は、どのように作成すれば良いのだろうか。
- A. [表](#)を参考に

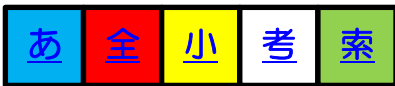
外国語活動における学習評価

- Q. 外国語活動における指導と評価をどのように行えば良いのだろうか？
- A. 止める（評価する）、残す、蓄積する
→活動させるだけにしない。

評価における「正確さ」と「適切さ」

Q. 小学校外国語教育の評価における「正確さ」と「適切さ」をどのように扱えば良いのだろうか？

A. 児童の実態や指導の状況を踏まえ指導・評価することを焦点化する。



索引

あ

意欲 [1](#), [50](#), [54](#)

音声 [30](#), [36](#), [39](#), [42](#), [47](#), [49](#),

か

外国語活動 [17](#), [30](#), [31](#), [33](#), [45](#), [62](#)

外部試験 [3](#), [24](#)

「書くこと」 [29](#), [30](#), [32](#), [43](#), [45](#), [49](#), [50](#), [51](#), [52](#),

学習改善 [1](#), [2](#), [8](#), [11](#), [20](#), [21](#), [22](#), [23](#), [25](#), [32](#), [50](#), [56](#), [59](#), [62](#)

学習指導要領 [3](#), [11](#), [12](#), [13](#), [14](#), [15](#), [17](#), [18](#), [19](#), [22](#), [24](#), [29](#), [30](#), [39](#), [43](#), [45](#), [46](#)

学習評価の質 [5](#), [6](#), [23](#), [25](#), [44](#), [47](#), [49](#)

関心・意欲・態度 [1](#), [50](#), [54](#)

観点別学習状況評価 [3](#), [11](#), [12](#), [14](#), [15](#), [16](#), [17](#), [18](#), [19](#), [20](#), [21](#), [22](#), [24](#), [26](#), [27](#), [28](#), [38](#), [39](#)

「聞くこと」 [29](#), [30](#), [34](#), [42](#), [45](#), [46](#), [50](#), [63](#)

記録に残す評価 [1](#), [4](#), [8](#), [12](#), [13](#), [14](#), [15](#), [16](#), [17](#), [19](#), [20](#), [21](#), [22](#), [23](#), [34](#), [36](#), [44](#), [46](#), [49](#), [55](#), [57](#), [62](#)

教員研修 [25](#)

言語活動 [29](#), [30](#), [31](#), [32](#), [33](#), [37](#), [43](#), [53](#), [54](#), [55](#), [57](#), [61](#), [63](#)

言語材料 [31](#), [37](#), [40](#), [46](#), [57](#), [61](#)

検定試験 [24](#)

語彙 [29](#), [45](#), [49](#)

行動観察 [7](#), [15](#), [57](#), [59](#), [62](#), [65](#)

個人内評価 [11](#), [15](#), [60](#)

さ

自己調整 [15](#), [16](#), [17](#), [18](#), [23](#), [28](#), [55](#), [56](#)

思考・判断・表現 [14](#), [15](#), [16](#), [18](#), [19](#), [20](#), [26](#), [27](#), [28](#), [33](#), [34](#), [38](#), [39](#), [42](#), [46](#), [48](#), [51](#), [53](#), [54](#), [57](#), [58](#), [61](#), [63](#)

指導改善 [1](#), [2](#), [8](#), [11](#), [19](#), [20](#), [21](#), [22](#), [23](#), [25](#), [27](#), [32](#), [50](#), [59](#), [60](#), [62](#)

指導に生かす評価 [8](#), [11](#), [28](#), [34](#), [36](#), [50](#), [59](#), [62](#)

指導要録 [1](#), [62](#)

「十分満足できる」状況 [6](#), [10](#), [35](#), [48](#), [51](#), [52](#), [53](#), [54](#), [55](#), [56](#), [57](#), [58](#), [59](#), [60](#), [61](#), [62](#), [63](#), [64](#), [65](#)

塾 [24](#)

主体的に学習に取り組む態度 [1](#), [15](#), [16](#), [17](#), [18](#), [19](#), [28](#), [34](#), [48](#), [53](#), [54](#), [55](#), [56](#), [61](#), [65](#)

信頼性 [5](#), [6](#), [23](#), [25](#), [44](#), [49](#)

正確さ [63](#), [64](#)

説明責任 [22](#), [58](#), [60](#)

絶対評価 [3](#)

専科教員 [35](#)

相対評価 [3](#)

た

妥当性 [2](#), [5](#), [6](#), [23](#), [25](#), [45](#), [49](#)

知識・技能 [9](#), [12](#), [13](#), [14](#), [15](#), [16](#), [19](#), [20](#), [26](#), [27](#), [29](#), [34](#), [36](#), [37](#), [39](#), [42](#), [43](#), [45](#), [46](#), [47](#), [51](#), [54](#), [57](#), [61](#), [63](#)

適切さ [59](#), [63](#), [64](#)

な

入試 [3](#), [24](#)

値踏み [22](#)

は

働き方改革 [1](#)

発音 [39](#), [50](#)

バックワードデザイン [32](#)

「話すこと」 [27](#), [29](#), [30](#), [34](#), [38](#), [39](#), [40](#), [44](#), [45](#), [46](#), [48](#), [57](#), [60](#), [61](#), [62](#), [63](#)

「話すこと [発表]」 [29](#), [38](#), [44](#), [46](#), [48](#), [57](#)

「話すこと [やり取り]」 [29](#), [34](#), [40](#), [44](#), [46](#), [48](#), [53](#), [61](#), [62](#), [63](#)

パフォーマンス評価 [7](#), [26](#), [27](#), [34](#), [38](#), [40](#), [44](#), [53](#), [54](#), [57](#), [58](#), [59](#), [60](#), [63](#)

ばらつき [11](#), [16](#), [19](#)

評価基準 [10](#), [11](#), [26](#), [27](#), [59](#)

評価規準 [4](#), [5](#), [6](#), [9](#), [10](#), [11](#), [23](#), [26](#), [27](#), [32](#), [34](#), [35](#), [37](#), [38](#), [39](#), [40](#), [42](#), [48](#), [51](#), [53](#), [57](#), [61](#), [62](#), [63](#)

評価計画 [20](#), [32](#), [34](#)

評価時期 [20](#), [23](#), [37](#), [44](#), [54](#), [57](#)

評価場面の精選 [20](#), [34](#), [57](#), [65](#)

評価方法 [5](#), [6](#), [7](#), [12](#), [14](#), [15](#), [16](#), [17](#), [18](#), [19](#), [20](#), [23](#), [25](#), [26](#), [27](#), [28](#), [29](#), [32](#), [34](#), [35](#), [36](#), [37](#), [38](#), [39](#), [40](#), [42](#), [44](#), [47](#), [49](#), [50](#), [51](#), [53](#), [54](#), [55](#), [57](#), [59](#), [62](#), [63](#), [65](#)

評定 [8](#), [11](#), [12](#), [14](#), [15](#), [19](#), [21](#), [22](#), [58](#)

振り返り [2](#), [28](#), [55](#), [59](#), [65](#)

文法 [29](#), [43](#)

文構造 [36](#), [43](#)

ペーパーテスト [7](#), [13](#), [25](#), [26](#), [36](#), [46](#), [47](#), [49](#), [59](#)

ポートフォリオ [14](#), [28](#), [59](#), [60](#)

保護者 [6](#), [22](#), [58](#)

ま

見方・考え方 [30](#), [33](#)

目標に準拠した評価 [3](#), [9](#), [11](#)

文字 [36](#), [49](#), [50](#), [51](#), [52](#)

メタ認知 [16](#), [18](#), [28](#)

めあて [17](#), [65](#)

や

「読むこと」 [29](#), [30](#), [32](#), [49](#), [50](#), [52](#)

ら

ループリック [26](#), [27](#), [48](#), [58](#), [59](#)

わ

ワークシート [28](#), [34](#), [49](#), [50](#), [55](#), [59](#)



参照資料一覧

このハンドブックは以下の関係資料をもとに作成しました。

主に評価全般に関わる資料

- 答申：「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」平成 28 年 12 月 21 日中央教育審議会
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/_icsFiles/afieldfile/2017/01/10/1380902_0.pdf

- 補足資料：「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）補足資料」
平成 28 年 12 月 21 日中央教育審議会
(1/8)
https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2017/01/20/1380902_4_1_1.pdf

- 報告：「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」平成 31 年 1 月 21 日中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会
https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2019/04/17/1415602_1_1_1.pdf

- 通知：「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」平成 31 年 3 月 29 日初等中等教育局長通知
https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/1415169.htm

- ハンドブック：「学習評価の在り方ハンドブック（小・中学校編）」令和元年 3 月
https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/gakushuhyouka_R010613-01.pdf

- Q&A：「平成 29・30 年改訂の学習指導要領下における学習評価に関する Q&A」令和元年 11 月
https://www.mext.go.jp/content/1421956_2.pdf

主に外国語教育の評価に関わる資料

○ガイドブック：「小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック」平成 29 年 6 月
1～3 章

https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/_icsFiles/afieldfile/2017/07/07/1387503_1.pdf

4～5 章

https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/_icsFiles/afieldfile/2017/07/07/1387503_2.pdf

6～7 章

https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/_icsFiles/afieldfile/2017/07/07/1387503_3.pdf

8 章

https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/_icsFiles/afieldfile/2017/07/07/1387503_4.pdf

9～10 章

https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/_icsFiles/afieldfile/2017/07/07/1387503_5.pdf

○解説：「小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説外国語活動・外国語編」平成 29 年 7 月

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_011.pdf

○外 Q&A：「平成 29 年改訂の小・中学校学習指導要領に関する Q&A<外国語、外国語活動に関すること>」令和元年 11 月

https://www.mext.go.jp/content/1422361_001_1.pdf

○資料：「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料（小学校編外国語）」令和 2 年 3 月

https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_gaikokg.pdf

○中資料：「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料（中学校編外国語）」令和 2 年 3 月

https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_gaikokg.pdf

※項目によっては、書籍をもとに作成している場合があります。
ご興味のある方は、ぜひご参照ください。

参考文献

- アレン玉井光江 (2010). 『小学校英語の教育法—理論と実践』 大修館書店
- アレン玉井光江 (2019). 『小学校英語の文字指導—リタラシー指導の理論と実践』 東京書籍
- バトラー後藤裕子 (2005). 『日本の小学校英語を考える—アジアの視点からの検証と提言』
三省堂
- バトラー後藤裕子 (2015). 『英語学習は早いほど良いのか』 岩波書店
- 大学英語教育学会・浅川和也・田地野彰・小田眞幸 (編) (2020). 『英語授業学の最前線』 ひ
つじ書房
- ドルニエ, Z. (著) 米山朝二・関 昭典 (訳) (2005). 『動機づけを高める英語指導ストラテジ
ー35』 大修館書店
- ドルニエ, Z. (著) 八島智子・竹内理 (監訳) (2006). 『外国語教育学のための質問紙調査入門
—作成・実施・データ処理』 松柏社
- 江利川春雄 (編) (2013). 『協同学習を取り入れた英語授業のすすめ』 大修館書店
- キップス, C.V. (著) 鈴木秀幸 (訳) (2001). 『新しい評価を求めて—テスト教育の終焉』 論創
社
- 南風原朝和 (2018). 『検証 迷走する英語入試—スピーキング導入と民間委託』 岩波書店
- 八田玄二 (2004). 『児童英語教育の理論と応用』 くろしお出版
- 池田勝久 (2020). 『小学校英語「5領域」評価事例集』 教育開発研究所
- 今井裕之・吉田達弘・兵庫教育大学 HOPE 開発プロジェクト (2007). 『HOPE—中高生のた
めの英語スピーキングテスト』 教育出版
- 今井典子・高島英幸 (2015). 『小・中・高等学校における学習段階に応じた英語の課題解決
型言語活動—自律する言語使用者の育成』 東京書籍
- 石井英真 (2015a). 『パフォーマンス評価とルーブリックの基礎と最前線』
https://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/forum/movie/pdf/2014/20150313_Ishii.pdf

- 石井英真 (2015b). 『今求められる学力と学びとは—コンピテンシー・ベースのカリキュラムの光と影』 日本標準
- 石井英真 (2020). 『授業作りの深め方—「よい授業」をデザインするための5つのツボ』 ミネルヴァ書房
- 石井英真・鈴木秀幸 (2021). 『ヤマ場をおさえる学習評価 小学校』 図書文化社
- JACET教育問題研究会 (2017). 『行動志向の英語科教育の基礎と実践—教師は成長する』 三修社
- 上山晋平 (2016). 『英語教師のためのアクティブ・ラーニングガイドブック—授業が変わる!』 明治図書出版
- 影浦 攻・佐藤広幸 (2007). 『「ごっこ遊び」の指導テキスト』 明治図書出版
- 加藤拓由 (2020). 「英語の評価ってどうすればいいの?」『英語教育』, 69(1), 50-51.
- 加藤由崇・松村昌紀・ウィキン, P. (編) (2020). 『コミュニケーション・タスクのアイデアとマテリアル—教室と世界をつなぐ英語授業のために』 三修社
- コモス, J.・スミス, A. M. (著)・竹田契一(監修)・飯島睦美・大谷みどり・川合紀宗 (訳) (2017). 『学習障がいのある児童・生徒のための外国語教育—その基本概念, 指導方法, アセスメント, 関連機関との連携』 明石書店
- 京都教育大学附属桃山小学校・附属桃山中学校・附属高等学校 (2019). 『言葉や文化の壁を越え英語を使ってすすんで関わりあえる人の育成—「話す」ことへの意欲を持ち続ける指導の在り方に注目して』 (2019年度 京都教育大学教育研究改革・改善プロジェクト—外国語教育高度化に向けた小・中・高等学校教育の指導力向上プロジェクト)
- メイリー, A.・ルイス, G.・ベッドソン, G.(著) 外山節子 (監訳) (2005). 『英語ゲーム 92—子ども英語指導ハンドブック』 旺文社・オックスフォード大学出版局
- 松香洋子 (2009). 『これだけは知っておきたい子どもと英語—松香洋子が語る』 mpi松香フォニックス

- 松村昌紀 (編) (2017). 『タスク・ベースの英語指導—Task-based instruction of English as a second language—TBLT の理解と実践』 大修館書店
- 松下佳代 (2007). 『パフォーマンス評価—子どもの思考と表現を評価する』 日本標準
- 美馬のゆり・山内祐平 (2005). 『「未来の学び」をデザインする—空間・活動・共同体』 東京大学出版会
- 三浦 孝・中嶋洋一・池岡慎 (2006). 『ヒューマンな英語授業がしたい!—かかわる,つながるコミュニケーション活動をデザインする』 研究社
- 三浦省五・前田啓朗・山森光陽・磯田貴道・廣森友人 (2004). 『英語教師のための教育データ分析入門—授業が変わるテスト・評価・研究』 大修館書店
- 文部科学省 (2016). 『幼稚園,小学校,中学校,高等学校及び特別支援学校の学習指導要領の改善及び必要な方策等について』
- 文部科学省 (2017a). 『小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編』 開隆堂出版
- 文部科学省 (2017b). 『中学校学習指導要領解説 外国語編』 開隆堂出版
- 文部科学省 (2019a). 『児童生徒の学習評価の在り方について (報告)』
- https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2019/04/17/1415602_1_1_1.pdf
- 文部科学省 (2019b). 『学習評価の在り方ハンドブック』
- https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/gakushuhyouka_R010613-01.pdf
- 文部科学省 (2020a). 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 外国語・外国語活動』 https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_gaikokg.pdf
- 文部科学省 (2020b). 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 外国語』 https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_gaikokg.pdf
- 森本康彦 (2019). 「e ポートフォリオを活用した学び—テストだけでは測れない資質・能力を育み評価するために」『英語教育』, 67(9), 44–45.

- 村上加代子 (2019). 『目指せ!英語のユニバーサルデザイン授業—みんなにわかりやすい小・中学校の授業づくり』学研プラス
- 中寫 洋 (2015). 『初学者のための質的研究—26 の教え』医学書院
- 中嶋洋一・直山木綿子・久保野雅史 (2017). 『「プロ教師」に学ぶ真のアクティブ・ラーニング—「脳働」的な英語学習のすすめ』開隆堂出版
- 直山木綿子 (2020). 『[なるほど!小学校外国語 3]学習評価』
<https://www.youtube.com/watch?v=O2TrA1K8E64>
- 直山木綿子 (編) (2021). 『小学校外国語教育の指導と評価』文溪堂
- 根岸雅史 (2017). 『テストが導く英語教育改革「無責任なテスト」への処方箋』三省堂
- 西岡加名恵・石井英真・田中耕治 (2015). 『新しい教育評価入門—人を育てる評価のために』有斐閣
- 西岡加名恵・石井英真 (2018). 『Q&Aでよくわかる!「見方・考え方」を育てるパフォーマンス評価』明治図書出版
- 西岡加名恵・石井英真 (2021). 『教育評価重要用語辞典』明治図書出版
- 大島純・千代西尾祐司 (2019). 『主体的・対話的で深い学びに導く学習科学ガイドブック』北大路書房
- 大城 賢 (2018). 『平成 29 年度版小学校新学習指導要領ポイント総整理—外国語』東洋館出版
- 太田洋一・阿野幸一 (2019). 『小学校はじめの一步—授業づくりのポイント』大修館書店
- 大塚謙二 (2015). 『Q&A 英語授業に悩んだら読む本』学陽書房
- 大塚謙二・胡子美由紀 (2012). 『成功する小中連携!生徒を英語好きにする入門期の活動 55』明治図書出版
- 奥住 桂 (2021). 「「正確さ」の指導って必要?」『英語教育』, 70(8), 49. 大修館書店
- 酒井英樹・廣森友人・吉田達弘 (2018). 『「学ぶ・教える・考える」ための実践的英語科教育法』大修館書店

- 酒井志延 (2018). 『「先生」のための小学校英語の知恵袋—現場の『?』に困らないために』
くろしお出版
- 三省堂 (2019). 『教科書内容解説資料』 https://tb.sanseido-publ.co.jp/02cjpr/documents/pdf04/crown_jr_14-27.pdf
- 三省堂 (2019). 『CROWN Jr. 評価資料集⑤・⑥』 三省堂
- 関田一彦・渡辺貴裕・仲道雅輝 (2016). 『教育評価との付き合い方—これからの教師のために』 さくら社
- 静 哲人 (2002). 『英語テスト作成の達人』 大修館書店
- 静 哲人・竹内 理・吉澤清美 (2002). 『外国語教育リサーチとテストの基礎概念』
関西大学出版部
- 静 哲人 (2009). 『英語授業の心・技・体』 研究社
- 小学校英語教育学会 (2020). 『小学校英語教育ハンドブック—理論と実践』 東京書籍
- 正頭英和 (2020). 『世界トップティーチャーが教える子どもの未来が変わる英語の教科書』
講談社
- スラタリー, M.・ウィリス, J. (著) 外山節子 (監訳) (2003). 『子ども英語指導ハンドブック—
指導者の養成・自習のために』 旺文社・オックスフォード大学出版局・
- 諏訪部真・白畑知彦・望月昭彦 (1997). 『英語の授業実践—小学校から大学まで』 大修館書
店
- 鈴木克明・根本淳子 (2011). 「教育設計についての三つの第一原理の誕生をめぐって」, 『教
育システム情報学会誌』, 16(2), 168–176
- 鈴木克明・市川 尚・根本淳子 (2016). 『インストラクショナルデザインの道具箱101』 北
大路書房
- 鈴木 渉 (2017). 『実践例で学ぶ第二言語習得研究に基づく英語指導—Teaching English
from a second language acquisition perspective』 大修館書店

- 高島英幸 (2014). 『児童が創る課題解決型の外国語活動と英語教育の実践—プロジェクト型言語活動のすべて』 高陵社書店
- 高島英幸 (編) (2020). 『タスク・プロジェクト型の英語授業』 大修館書店
- 高浦勝義 (2000). 『ポートフォリオ評価法入門』 明治図書出版
- 竹内 理 (2000). 『認知的アプローチによる外国語教育』 松柏社
- 竹内 理 (2003). 『より良い外国語学習法を求めて—外国語学習成功者の研究』 松柏社
- 竹内 理・水本 篤 (2014). 『外国語教育研究ハンドブック—研究手法のより良い理解のために』 松柏社
- タランディス, J. J. (著) 作井恵子 (訳) (2018). 『英語教員のためのスピーキングテスト—理論と実践』 アルマ出版
- 田中容子・西岡加名恵 (2021). 『生徒が主人公になる高校英語の授業』 日本標準
- 田村 学 (2017). 『カリキュラム・マネジメント入門—「深い学び」の授業デザイン 学びをつなぐ7つのミッション』 東洋館出版社
- 手島 良 (2019). 『これからの英語の文字指導—書きやすく読みやすく』 研究社
- トムリンソン, C. A. (著) 山崎敬人・山元隆春・吉田新一郎 (訳) (2017). 『ようこそ、一人ひとりをいかす教室へ—「違い」を力に変える学び方・教え方』 北大路書房
- Wolf, M. K. & Butler, Y. G. (Eds.) (2017). *English language proficiency assessments for young learners*. (1st ed.). Routledge
- 山田誠志 (2020a). 「中学校外国語科における学習指導と学習評価の工夫改善」『中等教育資料』, 1011, 36–41. 学事出版
- 山田誠志 (2020b). 「目標と指導と評価の一体化—指導の観点・評価規準」『英語教育』, 68(13), 10–13. 大修館書店
- 柳瀬陽介・小泉清裕 (2015). 『小学校からの英語教育をどうするか』 岩波書店
- 矢ノ浦勝之 (2016). 『秋田県式「アクティブ・ラーニング」教師の技11—子どもの「主体的・対話的な深い学び」を促す!』 小学館

- 吉田新一郎 (2006). 『効果10倍の〈教える〉技術—授業から企業研修まで』 PHP研究所
- 吉田新一郎・岩瀬直樹 (2007). 『効果 10 倍の〈学び〉の技法—シンプルな方法で学校が変わる!』 PHP 研究所
- 吉田達弘・玉井 健・横溝紳一郎・今井裕之・柳瀬陽介 (2009). 『リフレクティブな英語教育をめざして—教師の語りが拓く授業研究』 ひつじ書房
- 米崎里・多良静也・佃由紀子 (2016). 「小学校外国語活動の教科化・低学年化に対する小学校教員の不安—その構造と変遷」, *JES Journal*, 16, 132–146